



ドラム式洗濯機

HD71

取扱説明書

もくじ

ご使用の前に



この商品は海外では使用できません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

安全上の注意	2
使用上の注意	4
洗濯物について	5
洗濯コースについて	6
各部の名称	7

取り扱いかた

使いかた

チャイルドロック	10
ドアロック・お知らせ音	11
洗濯前の準備	12
洗濯	
標準コース・すすぎ1回コース・お急ぎコース・念入りコース	14
大物（布団・毛布）コース	16
手洗いコース	19
羽毛（ダウ）コース	22
部屋干し（約50℃すすぎ・約40℃すすぎ）コース	25
温水（約60℃（除菌）・約40℃）コース	27
脱水のみコース	30
すすぎ脱水コース	31
コース設定を変更して洗濯する	32
コース設定一覧と設定可能な行程	35
おこのみに登録した設定で洗濯する	36
タイマー予約洗濯	38
洗剤量の目安	39
お手入れ	40

こんなときには

故障かな？と思ったら	44
洗濯がうまくいかないときは	47
エラーが表示されたときは	49
長期使用製品について	50
仕様	51
保証とアフターサービス	51

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよく読んで、正しく使用してください。
- 使用する前に「安全上の注意」を必ず読んでください。
- この取扱説明書は使用する方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う
おそれがある内容を示しています。



- ドアを開けたまま離れない
- 子どもをドラム内に入らせない
子どもがドラム内に入ると、閉じ込められ、窒息死などの危険があります。



- 廃棄のために仮置きするときは、必ずドアを外す
子どもがドラム内に入ると、閉じ込められ、窒息死などの危険があります。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは定期的に取る
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。
- 電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使う
火災の原因になります。



- お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電やけがの原因になります。



- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。



- 電源コードをたばねて通電しない
過熱してやけど・火災の原因になります。
電源コードは、必ずのばして使用してください。

- 電源コードを傷つけない
- 電源コードを引っ張らない
傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

- 洗濯機を電源プラグに押しつけない
据え付け時は、洗濯機で電源プラグを押しつけないように注意してください。

- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
ショートによる火災・感電の原因になります。
電源コードが破損したときは、絶対に自分で修理せず、アイリスコールへお問い合わせください。

据え付けについて



- 水まわり、浴室など湿気のある場所には絶対に据え付けない
- ベランダ・庭など風雨にさらされる場所に据え付けない
火災の原因になります。



アースを
必ず接続

- アースを必ず取り付ける
感電・やけど・けがの原因になります。
- アース線は、ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しない
爆発・火災の原因になります。



- 本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない
火災・感電の原因になります。



- 雷が鳴りだしたら、洗濯機やコンセントに触れない
感電のおそれがあります。



- 子どもや、補助の必要な人に一人で使わせない
必ず、本製品の安全な使いかたを理解している保護者・介助者の補助のもとで使用してください。



- 分解・修理・改造をしない
火災・感電・けがの原因になります。修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。
修理については、お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。



- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。
【異常の例】
 - ・異常な音やにおいがする
 - ・電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
 - ・電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
 - ・洗濯中時々電源が切れる
 - ・触るとビリビリ電気を感じる
 ➡ 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。



注意

誤った取り扱いをすると、人掛けがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

据え付けについて



- キャスター付きの台など不安定な場所に据え付けない
- 高いところに据え付けない
脱水時の振動で、転倒・落下・移動し、けがや周囲の家財の破損の原因になります。



- 確実に排水できる場所に据え付ける
水もれにより、周囲の家財の汚損や、火災・感電の原因になります。



- 給水ホースは確実に接続する
- 洗濯前は、給水栓を開けて、給水ホースの接続を確認する
ねじなどがゆるんでないか確認してください。ホースが外れると、水もれや事故の原因になります。



- 上に乗ったり、寄りかかったりしない
- 重いものを載せない
転倒事故などの原因になります。



- 洗濯機の下に手や足などを入れない
回転部などに触れるokeがの原因になります。



- ぬれたものや、水の入ったバケツなどを洗濯機の上に置かない
洗濯機内部に水が入ると、感電や火災の原因になります。



- スプレーをかけない（殺虫剤、整髪料、潤滑油など）
- 引火性のもの（灯油・ガソリン・シンナーなど）、可燃性のものを入れない
火災の原因になります。



- 可燃性のものや火のついたたばこ・線香などを入れたり近づけたりしない
火災の原因になります。



- ドアに衣類がはさまったまま洗濯しない
- ドアが破損したときは使用しない
水もれして周囲の汚損の原因になったり、けがの原因になります。
- ドアに乗らない
- ドアを上から押さない
- ドアのヒンジ部分に触れない
事故やけがの原因になります。



- 防水性のもの、水を通しにくいものは、洗濯・脱水しない
洗濯物の飛び出しや脱水時の異常振動により、けが・家財の損傷・洗濯物の損傷・水もれなどの原因になります。
防水性のもの・水を通しにくいもの
バスマット・雨合羽・サウナスーツ・ウェットスーツ・おむつカバー・寝袋・スキーウェア・自動車などのカバー・防水シートなど

安全上の注意 つづき



- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
絶縁低下により、火災・感電の原因になります。



- 衣類の洗濯以外に使用しない
- 業務など家庭用以外に使用しない
本製品は家庭用の衣類用洗濯機として設計されています。業務用や衣類以外に使用すると、火災などの原因になります。



- 給湯器につながない
プラスチック部分が変形・破損し、感電や漏電、水もれの原因になります。

使用上の注意

- 本体（特にドアや操作部）に洗剤や柔軟剤が付いたときは、すぐに絞ったタオルなどで拭き取ってください。印字のはがれやプラスチック部分の傷み、金属部の腐蝕などの原因になります。特に濃縮液体洗剤がプラスチック部分に付くと、プラスチックが割れことがあります。
- 使用後は万一の水もれを防止するために、給水栓を閉めてください。
- 使用前に給水栓を開け、水もれがないことを確認してください。
- 洗剤は入れすぎないください。
すすぎが不十分になったり、泡が飛んで周囲をぬらす原因になります。
- 洗濯物を入れすぎないください。
誤動作の原因になります。

- ラジオやテレビの近くに据え付けしないでください。
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。
- スピーカーやIH調理器（電磁調理器）など磁気の出る機器の近くには据え付けないでください。
- 洗濯機の上に磁気を帯びたものを載せないでください。
正常に動作しないことがあります。
- ドアロック中は、ドアを無理に開けないでください。
- 衣類を出し入れするときに、ドアやドアパッキンに無理な力を加えないでください。
破損して水もれなどの原因になります。
- 糸くずフィルターは定期的にお手入れしてください。
- 糸くずフィルターは必ず取り付けて使用してください。
- ドアやドアパッキンの糸くず・髪の毛などは取り除いてください。

廃棄について

- 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

洗濯物について

■洗濯・脱水できないもの

洗濯物の縮み・形くずれ・変色・損傷・風合いの劣化などのおそれがあります。

●以下の洗濯絵表示のあるもの



または



家庭での水洗いはできない、
または洗濯処理はできない



または



石油系ドライクリーニング

●取り扱い絵表示や素材表示のないもの

●皮革・毛皮・羽などが使われている製品

●和服・和装小物

●ネクタイ・スーツ・コート

●レーヨン・キュプラ及びそれらの混紡が使われている
製品

●絹製品

●ベルベットなどのパイル地製品

●強燃糸（強くよじった糸）を使用した製品（ウール・
ちりめんなど）

●毛100%または毛足10mm以上の毛布やカーペット
カバー

●靴

●コーティング加工・樹脂加工・エンボス加工をした製品

脱水時、異常振動などの原因になります。

●防水性製品

洗濯できる表示があっても洗わないでください。



●玄関マット・ラグマット・バスマット・敷物

裏面にゴムの付いているもの、毛足の長いもの、厚手
のもの

●カーペット

●座ぶとん・まくら・クッションなど

●ペットなどの毛が多量に付着したもの

●市販の洗濯補助具

洗濯ボール・ごみ取りフィルターなど

洗濯コースについて

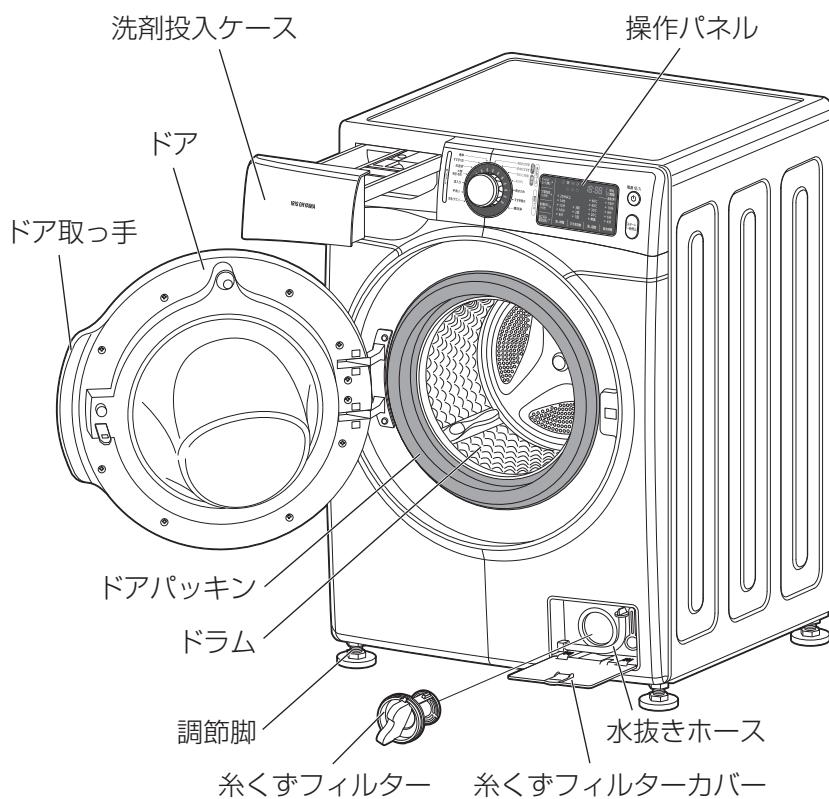
コース	用途	使用する洗剤	洗濯できる量	洗濯時間の目安 (初期設定の場合) ^{※1}	参照 ページ
洗 い 方 コ ース	標準	ふだんの洗濯に使用します。	洗濯用洗剤	7.5kgまで	約49分 →P14
	すすぎ1回	すすぎを1回だけにして洗濯時間を短縮します。	すすぎ1回用洗剤	5kgまで	約36分 →P14
	お急ぎ	時間を短縮して洗濯します。		2kgまで	約24分 →P14
	大物 (布団・毛布)	ふとん・毛布などを洗濯します。	洗濯用洗剤 (粉末洗剤は溶かしてから入れる)	2kgまで	約1時間5分 →P16
	念入り	汚れの多いものを、念入りに洗濯します。	洗濯用洗剤	4kgまで	約55分 →P14
	手洗い	デリケートな衣料（ウール、レースの付いた製品など）の洗濯に使用します。	液体中性洗剤	2kgまで	約41分 →P19
	羽毛 (ダウン)	羽毛入り衣料（ダウンジャケットなど）の洗濯に使用します。 最初の洗いは、30℃の温水で洗濯します。	ダウン専用洗剤	2kgまで	約1時間15分 →P22
	約50℃ すすぎ	50℃の温水で最後のすすぎを行い、洗濯後の乾燥時間を短縮します。 ※「50℃を限度として洗濯機で洗濯可能なマーク」付きの衣料、または「それ以上の温度で洗濯機で洗濯可能なマーク」付きの衣料に使用してください。 	洗濯用洗剤	4kgまで	約2時間31分 →P25
	約40℃ すすぎ	40℃の温水で最後のすすぎを行い、洗濯後の乾燥時間を短縮します。 ※「40℃を限度として洗濯機で洗濯可能なマーク」付きの衣料、または「それ以上の温度で洗濯機で洗濯可能なマーク」付きの衣料に使用してください。 			約2時間11分
温 水	約60℃ (除菌)	60℃の温水で洗濯します。綿素材の肌着の除菌などが行えます。 ※「60℃を限度として洗濯機で洗濯可能なマーク」付きの衣料、または「それ以上の温度で洗濯機で洗濯可能なマーク」付きの衣料に使用してください。 	洗濯用洗剤 (常温より多めに洗剤を使用します。)	2kgまで	約2時間12分 →P27
	約40℃	40℃の温水で洗濯します。 皮脂汚れなどが落ちやすくなります。 ※「40℃を限度として洗濯機で洗濯可能なマーク」付きの衣料、または「それ以上の温度で洗濯機で洗濯可能なマーク」付きの衣料に使用してください。 		4kgまで	約1時間41分
個 別 コ ース	脱水のみ	脱水のみ行います。 ※脱水を脱水なし（ランプがすべて消灯）に設定して運転すると、排水のみ行います。	-	7.5kgまで	約11分 →P30
	すすぎ脱水	すすぎと脱水のみ行います。 ※スタートすると、排水→脱水から始まります。	-	7.5kgまで	約18分 →P31
	槽洗净	60℃の温水で、ドラムを洗净します。	-	なし	約2時間15分 →P42

※1 洗濯時間は、洗濯する衣類の量によって変わります。

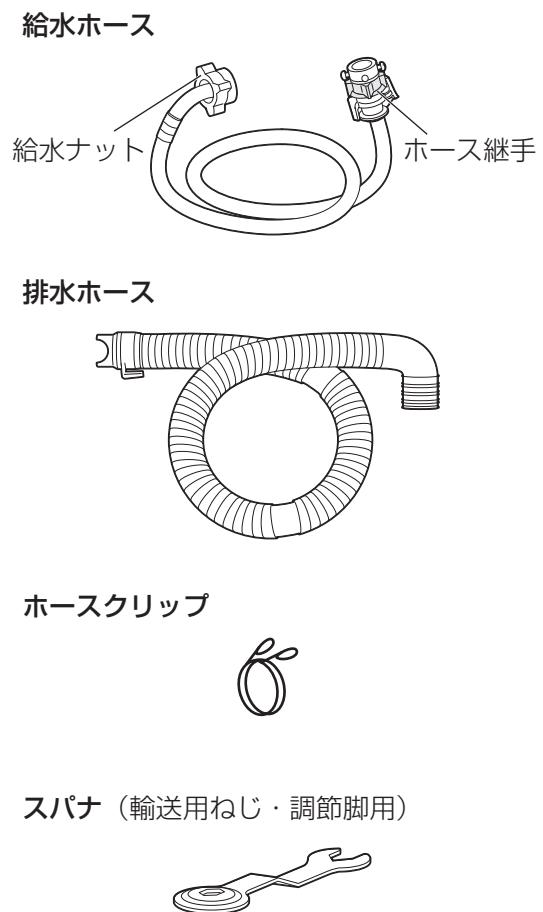
また、常温以外で洗濯やすすぎをするコースは、給水される水温によって大幅に洗濯時間が変わることがあります。

各部の名称

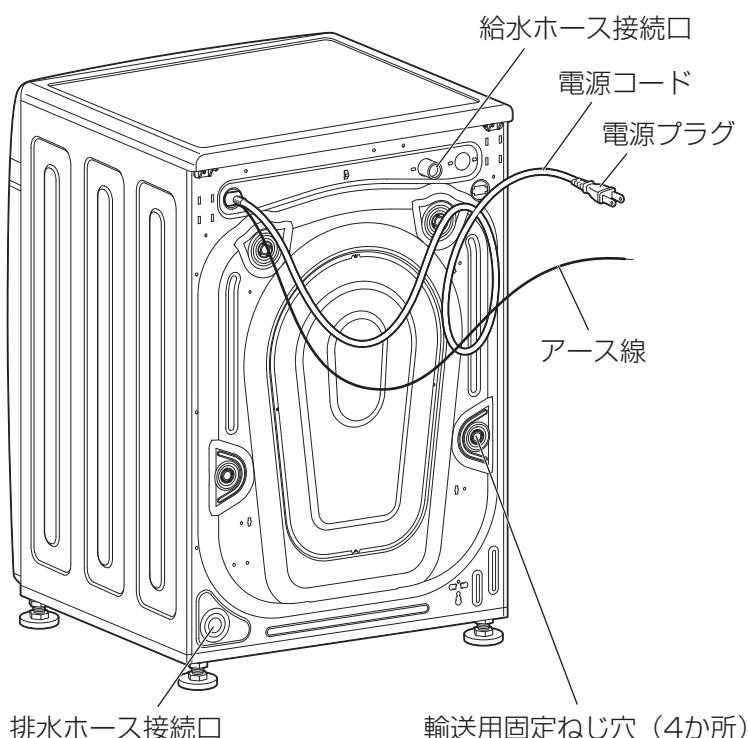
■正面



■付属品



■背面



据え付け時、据え付け業者が取り外して
お渡しします。

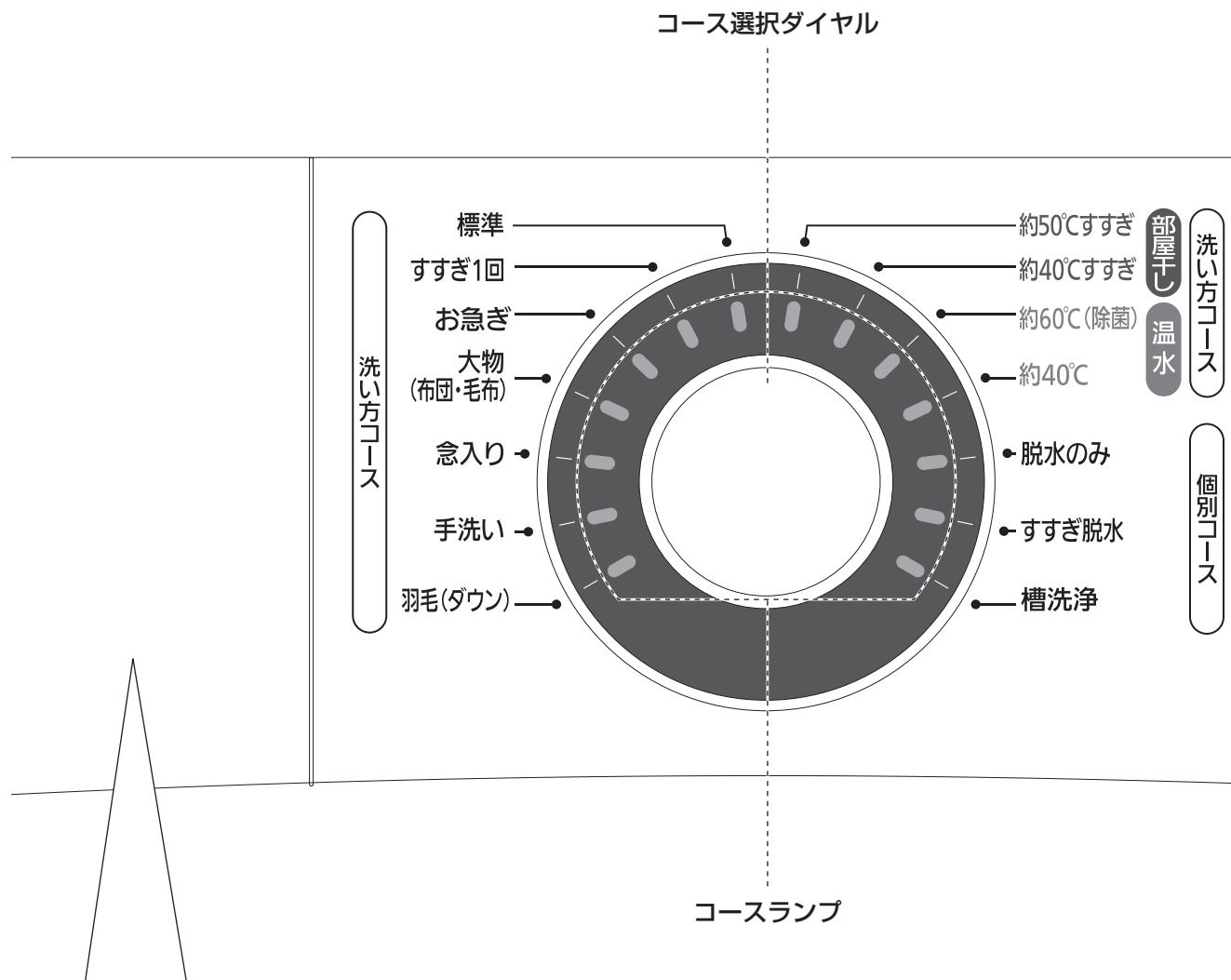
輸送用固定ねじ ×4



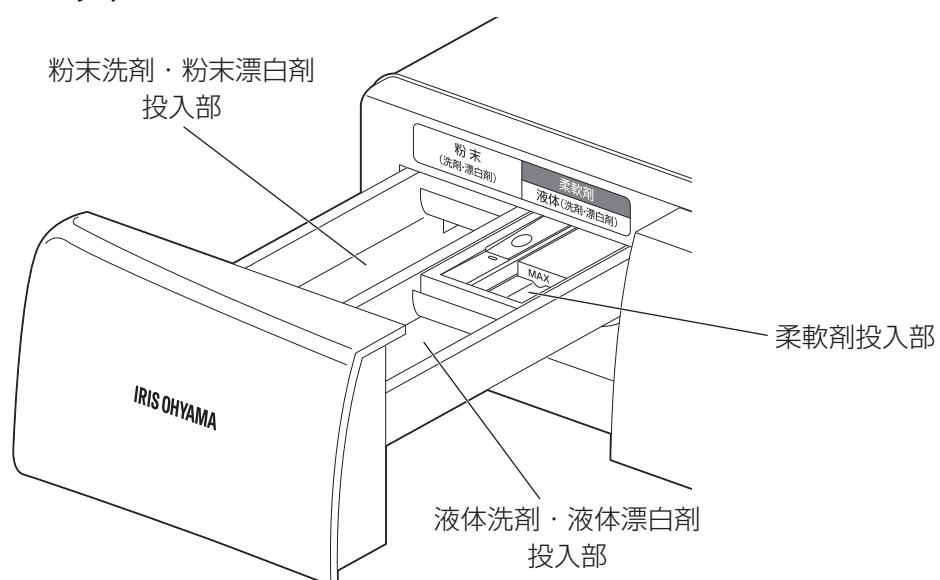
接続口キャップ



■操作パネル



■洗剤投入ケース



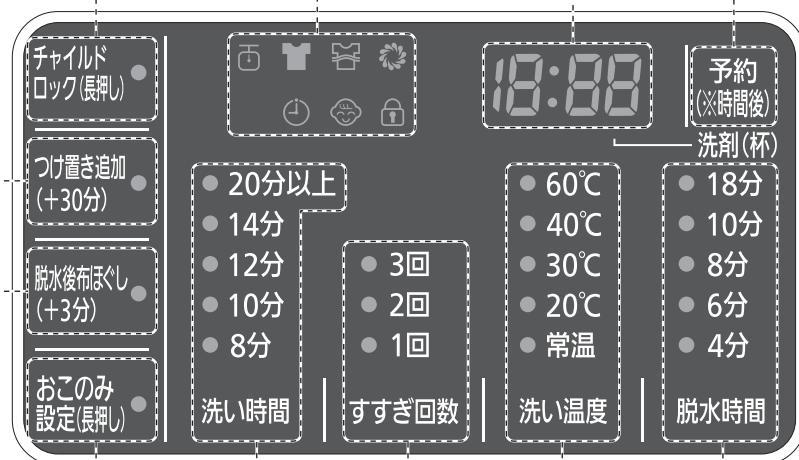
つけ置き追加 (+30分)
キー・ランプ

計量アイコン 洗い時間アイコン すすぎ回数アイコン 脱水時間アイコン
④ 予約アイコン ⑤ チャイルドロックアイコン ⑥ ドアロックアイコン

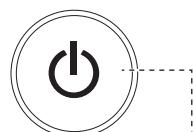
チャイルドロック
キー・ランプ

時間表示部

予約（※時間後）キー



電源 切/入



スタート
一時停止

おこのみ設定
キー・ランプ

すすぎ回数
キー・ランプ

脱水時間
キー・ランプ

電源 切/入ボタン

脱水後布ほぐし(+3分)
キー・ランプ

スタート/一時停止
ボタン

洗い時間
キー・ランプ

洗い温度
キー・ランプ

使いかた チャイルドロック

子どもの事故防止のためにチャイルドロックをかけることができます。

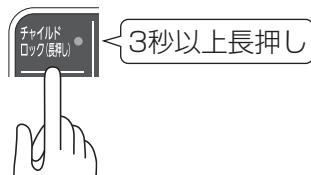
- ・チャイルドロックをかけると、電源の切／入とチャイルドロックの解除以外の操作はできなくなります。
- また、ドアロックがかかり、ドアを開けることができなくなります。

■チャイルドロックをかけるには

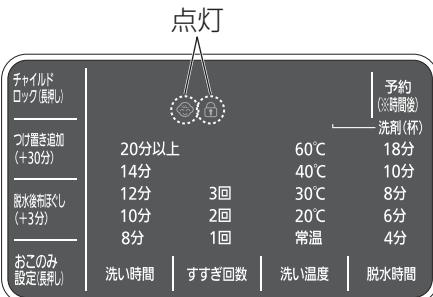
停止中は

電源を入れ、ドアを閉めた状態で、チャイルドロックキーを3秒以上長押しする

- ・**【L】**と**---**が交互に表示され、チャイルドロックランプ・チャイルドロックアイコン(⌚)・ドアロックアイコン(🔒)が点灯します。



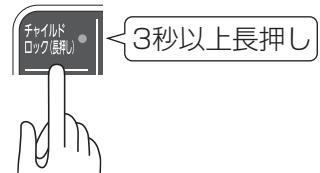
- ・ドアロックを確認したら、電源切／入ボタンを押して電源を切ってください。ドアロックアイコン(🔒)とチャイルドロックアイコン(⌚)が点灯して、他は消灯します。



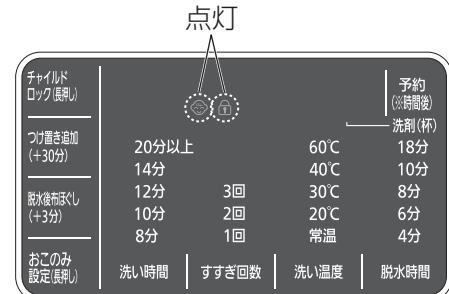
洗濯中は

チャイルドロックキーを3秒以上長押しする

- ・**【L】**と終了時間が交互に表示され、チャイルドロックランプ・チャイルドロックアイコン(⌚)が点灯します。ドアロックアイコン(🔒)は点灯したままになります。



- ・洗濯が終了すると、約30秒間**【L】**と**End**が交互に表示された後、電源が切れます。
- ・電源が切れると、ドアロックアイコン(🔒)とチャイルドロックアイコン(⌚)が点灯して、他は消灯します。電源を入れると、**【L】**と**---**が交互に表示され、チャイルドロックランプ・チャイルドロックアイコン(⌚)・ドアロックアイコン(🔒)が点灯します。

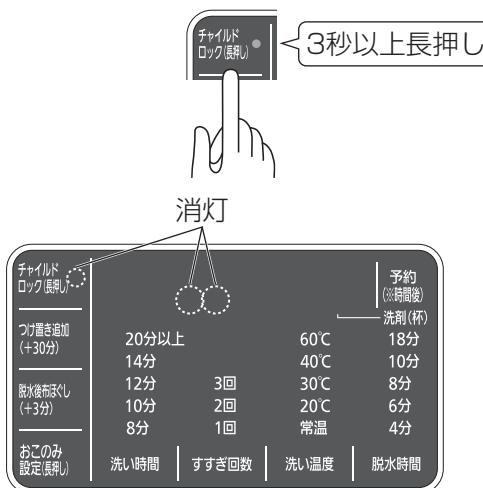


■チャイルドロックを解除するには

停止中は

電源を入れ、チャイルドロックキーを3秒以上長押しする

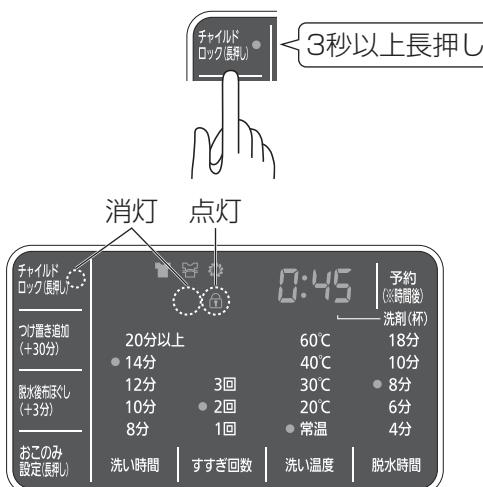
- 電源が入ると、[L]と---が交互に表示され、チャイルドロックランプが点灯します。
- チャイルドロックを解除すると、---が表示され、チャイルドロックランプ・チャイルドロックアイコン(⌚)・ドアロックアイコン(🔒)が消灯して、ドアロックが解除されます。



洗濯中は

チャイルドロックキーを3秒以上長押しする

- チャイルドロックを解除すると、終了時間が表示され、チャイルドロックランプ・チャイルドロックアイコン(⌚)は消灯します。ドアロックアイコン(🔒)は点灯したままになります。
- チャイルドロックを解除すると、通常通り操作ができるようになります。



- 洗濯が終了すると、ドアロックアイコン(🔒)も消灯して、ドアロックは解除されます。

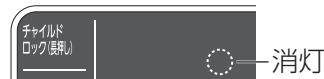
■ドアロックについて

- 洗濯中はドアロックがかかります。ドアロック中はドアロックアイコン(🔒)が点灯します。



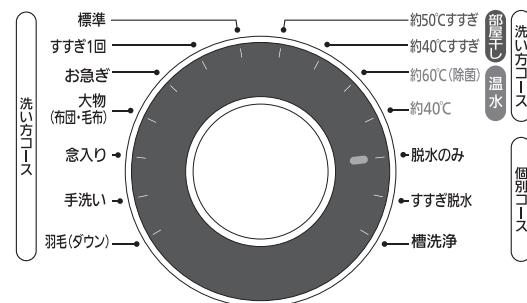
ドアロックの解除

- 洗濯がすべて完了すると、ドアロックアイコン(🔒)が消灯して、ドアロックが解除されます。



- 洗濯の途中でドアを開けたいときは、スタート/一時停止ボタンを押してください。ドラムが停止した後、ドアロックアイコン(🔒)が消灯して、ドアロックは解除されます。

※水量が多い場合は、ドアロックが解除されないことがあります。その場合は、脱水のみコースを選んでスタート/一時停止ボタンを押し、1~2分程度脱水が済んだら、停止してドアを開けてください。



- 電源を切/入した後、水量が少ないとドアを開けることができます。水量が多い場合は、上記(※)の手順で排水した後、ドアを開けてください。

■お知らせ音

操作時と終了時などのお知らせ音を、切/入することができます。

お知らせ音を切/入するには

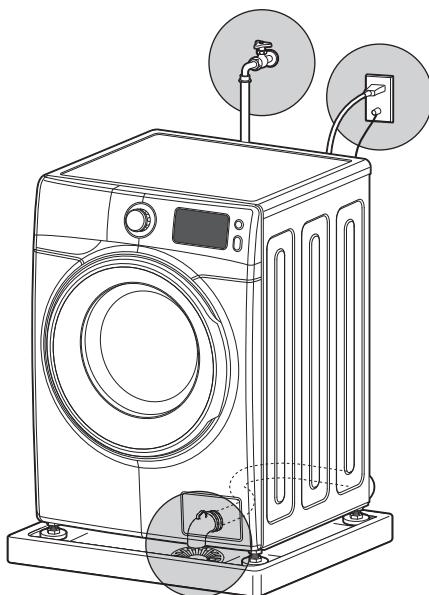
電源が入っているときに、脱水時間キーを3秒以上長押しする



洗濯前の準備

1 据え付けの確認

初めて使用するときは、据え付け状態の確認をしてください。また、定期的に、据え付け状態に異常がないか確認してください。



電源コード

- ・電源プラグがコンセントの奥までしっかりと差し込まれているか
- ・アースが接続されているか

排水ホース

- ・確実に排水口に取り付けられているか
- ・排水が止まらないように、高さが10cm以上持ち上がらないようになっているか

給水ホース

- ・給水栓（蛇口）は、ニップル付給水栓を使用して、ロックレバーが給水栓のつばに確実にかかっているか
- ・付属の継手を使用している場合は、傾きやすき間がないか、水もれがないか
- ・本体の接続は、給水ナットを最後まで確実に締めてあるか
- ・接続部分にゆるみやがたつきはないか
- ・給水栓（蛇口）にさびは発生していないか

本体

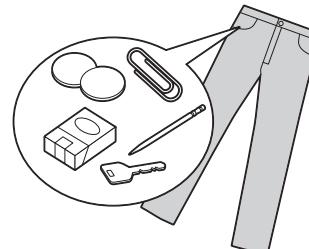
- ・水平に設置されているか
- ・がたつきはないか
- ・排水ホースや給水ホース、給水栓（蛇口）を圧迫していないか

2 洗濯物を確認する

ポケットの中のもの（硬貨・ねじ・ヘアピン・くぎ・つまようじ・砂など）は取り除く

カーテンのフックは取り外す

- ・洗濯物の傷みや排水経路のつまりの原因になります。

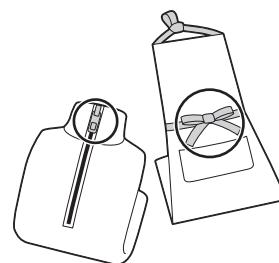


ひもなどは結ぶ

ファスナーは閉める

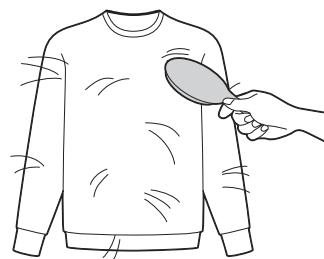
ボタンや面ファスナー（マジックテープ）はとめる

- ・洗濯物がすれたり、絡まつたりして、傷む原因になります。



髪の毛・動物の毛・泥・砂などはブラシで落とす

- ・排水経路がつまる原因になります。



起毛素材（コーデュロイなど）・毛玉のできやすいセーター・特殊印刷のあるTシャツなどは裏返す

- ・摩擦やかくはんなどで表面が傷みやすい製品は、裏返すか洗濯用ネットに入れてください。



3 洗濯物を分ける

色の濃いものを分ける

- 色の濃いものは、洗濯物の目立たない部分で、白いタオルなどに洗剤液を含ませて押し付け、色落ちしないか確認してください。
- 色落ちするものは、色ごとに分けて洗ってください。

糸くずが出やすいものと、糸くずが目立つものを分ける

- タオルなどは、糸くずが出やすいので分けて洗ってください。
- コーデュロイや色の濃いものなど、糸くずが目立つものは、糸くずが出やすいものと分けるか、市販の糸くず防止ネットに入れて洗ってください。

4 デリケートな洗濯物は市販の洗濯用ネットに入れる

レースの付いた製品・フリルや飾りボタンの付いた製品・ストッキングやタイツなど

- 洗濯用ネットに入れ、手洗いコースで洗ってください。

小物衣類（乳幼児のくつ下、ハンカチなど）

- 軽い衣類は洗濯中にドア付近に集まりやすいので、洗濯用ネットに入れて洗ってください。そのままだと、洗濯や脱水が十分にできないことがあります。

ワイヤー入りのブラジャー

- 市販のブラジャー専用ネットに入れて洗ってください。

※ 洗濯用ネットに入れる量はできるだけ少なくしてください。たくさんの衣類を1つの洗濯用ネットに入れる、バランスが取れずに脱水時の振動が大きくなり、停止してしまうことがあります。

※ 洗濯用ネットに入れた洗濯物は、必ずそれ以上の量の他の衣類と一緒にドラムに入れてください。洗濯用ネットに入れたものだけだと、洗濯物が1か所にかたよるため脱水時の振動が大きくなり、停止してしまうことがあります。

ネットに入れた衣類が少量でも、必ず同量以上の衣類と一緒に入れてください。

※ 洗濯用ネットに入れた洗濯物は先に入れてください。

洗濯用ネットに入れられないもの

- 大きなもの（毛布・ふとん・ジーンズ・バスタオルなど）
脱水時に異常振動が発生したり、バランスが取れずに脱水が停止してしまうことがあります。

5 洗濯物を入れる

・洗濯のコースによって、洗濯できる量が決まっています。6ページの「洗濯コースについて」を目安に、最大量を超えないように入れてください。

※厚手のものや、かさばるもの1枚だけで入れないでください。（ジーンズ、バスローブ、トイレマット、木綿の厚手のトレーナーなど）

洗濯物が1か所にかたよるため脱水時の振動が大きくなり、停止してしまうことがあります。

衣類の重さ（目安）



パジャマ上下（綿） 約500g



スカート（混紡） 約400g



ワイシャツ（混紡） 約200g



アンダーシャツ（綿） 約130g



シーツ（綿） 約500g



バスタオル（綿） 約300g



タオル（綿） 約70g



ブリーフ（綿） 約50g

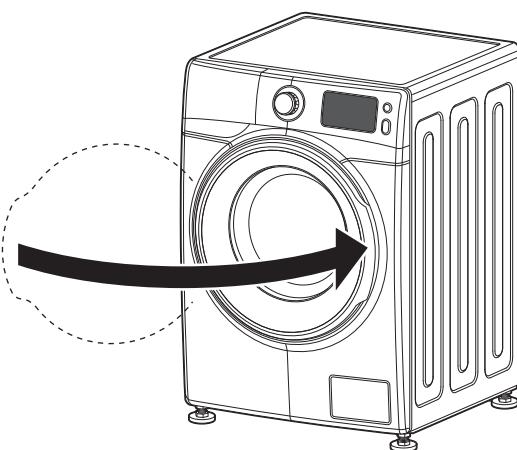


くつ下（混紡） 約50g

●洗濯物を入れすぎると、ドラム内で洗濯物がよく動かず、洗浄力が低下することがあります。

洗濯物の量が多いと感じたときは、1回の洗濯物の量を少なめにして、ドラム内で洗濯物がよく動く程度にすると、洗浄力が低下せずにすみます。

6 ドアを閉める

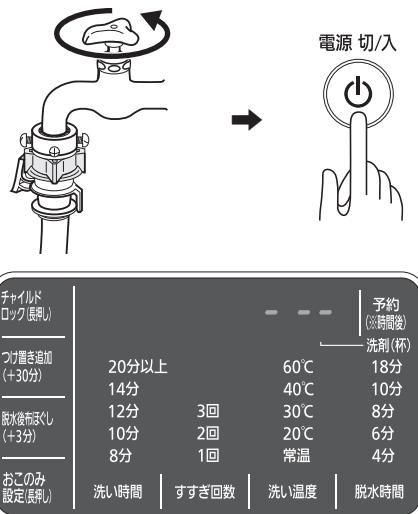


※ 洗濯物がはさまれないように注意してください。

- すすぎ1回コース・お急ぎコースでは、すすぎ1回用洗剤を使用してください。
- 洗える洗濯物の量は、それぞれのコースで次のとおりです。
標準コース：7.5kgまで お急ぎコース：2kgまで
すすぎ1回コース：5kgまで 念入りコース：4kgまで
- 洗い温度を変更する場合、給水後温度を上げるために、常温での洗濯に比べて時間がかかることがあります。
- 給水水温によっては設定の温度まで水温が上がらないことがあります。
- 給水水温より低い温度に設定しても水温は下がりません。

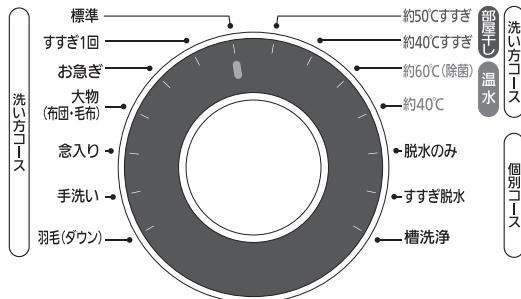
1 給水栓を開け、電源 切／入ボタンを押して電源を入れる

- ・コース選択ダイヤルのランプがすべて点灯し、---が表示されます。



2 コース選択ダイヤルでコースを選ぶ

標準の場合



コース	初期設定				
	計量	洗い時間	すすぎ回数	洗い温度	脱水時間
標準	する	14分	2回	常温	8分
すすぎ1回	する	12分	1回	常温	8分
お急ぎ	する	8分	1回	常温	4分
念入り	する	20分以上	2回	常温	8分

※ 通常は標準コースを選んでください。

※ コースの選択後、洗い時間・すすぎ回数・洗い温度・脱水時間などの設定を変更できます。つけ置き追加・脱水後布ほぐしなどの行程の追加もできます。(→P32)

洗い温度を上げるときは

洗い時間を20分以上に設定してください。他の設定では水温が十分に上がりません。

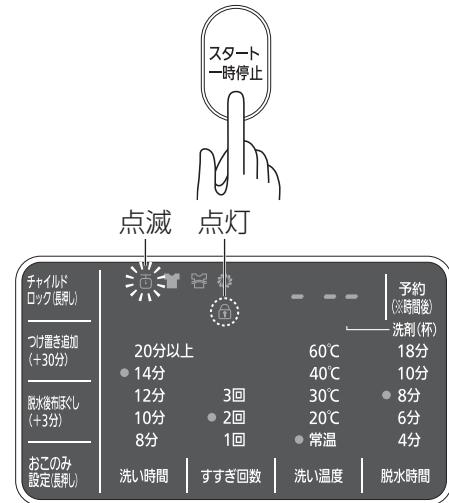
※ お急ぎコースでは、洗い温度の設定を上げることはできますが、洗い時間を優先するため、設定温度まで水温が上がらないことがあります。

※ タオル地の洗濯物は、パイルが寝て、ごわつくことがあります。洗い時間を短くするか、手洗いコースで洗ってください。

※ コース選択ダイヤルでコースを選ばないで(ダイヤルのコースランプがすべて点灯)スタート/一時停止ボタンを押すと、標準コースで洗濯を始めます。

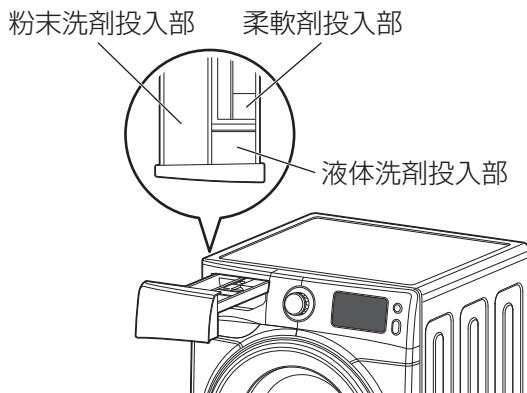
3 スタート/一時停止ボタンを押す

- ・ドアロックアイコン(🔒)が点灯して、ドアロックがかかります。(ドアロックについては11ページをご覧ください。)
- ・ドラムが回転して洗濯物を計量し(計量アイコン(⌚)が点滅)、それに合わせた洗剤量が表示され(約45秒後)、一時停止します(約20秒間)。



4 一時停止中に洗剤・柔軟剤を入れる

- ・一時停止は20秒間です。
- ・給水が始まってしまったときは、**スタート／一時停止**ボタンを押して一時停止してください。



洗剤を入れる

- ・洗剤投入ケースを引き出し、表示された洗剤量にもとづいて、洗剤投入部に洗剤を入れてください。
- ・市販の洗剤は、一般に、水30Lあたりの使用量が記載されています。39ページの表を参照して、使用している洗剤ごとに、投入する量の参考にしてください。

※ 粉石けんは使用できません。

※ 他のコースについては、それぞれのページをご覧ください。

※ 泡立ちの良い洗剤は、少なめに入れてください。

※ 軽い汚れの場合は、洗剤を少なめにしてください。

※ 洗剤は入れすぎないでください。

必要に応じて漂白剤を入れる

- ・39ページの表を参照して、使用している漂白剤ごとに、投入する量の参考にしてください。
- ・洗剤と一緒に、洗剤投入部に入れてください。

柔軟剤を入れる

- ・洗剤投入ケースの柔軟剤投入部へ入れてください。
- ・39ページの表を参照して、使用している柔軟剤ごとに、投入する量の参考にしてください。

※ 種類によっては、低温などの影響で固まってしまうものがあります。低温になる場所での柔軟剤の保管は避けてください。

また、固まった柔軟剤は、必ず水やぬるま湯でよく溶かした後、使用してください。

- ・洗濯がスタートすると、残り時間の目安が表示されます。

- ・**スタート／一時停止**ボタンを押して一時停止にした場合は、**スタート／一時停止**ボタンを押して洗濯をスタートしてください。

点滅 残り時間の目安

チャイルドロック(奥押し)		0:45		予約(※時間後)	洗剤(杯)
つぶ書き追加(+30分)		20分以上	60℃	18分	
● 14分		14分	40℃	10分	
12分	3回	12分	30℃	● 8分	
10分	● 2回	10分	20℃	6分	
8分	1回	8分	常温	4分	
おののみ設定(奥押し)		洗い時間	すすぎ回数	洗い温度	脱水時間

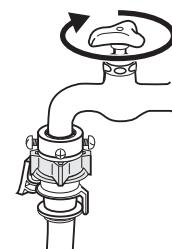
- ・洗濯が進むにつれ、それぞれの行程で**洗い時間**アイコン(洗濯機)・**すすぎ回数**アイコン(湯桶)・**脱水時間**アイコン(花)が点滅し、終了した行程は消灯します。
- ・洗濯開始後でも、**すすぎ回数**と**脱水時間**の設定を変更できます。変更するときは、**スタート／一時停止**ボタンを押して洗濯を停止し、設定を変更したら、再度**スタート／一時停止**ボタンを押して洗濯を再開してください。

5 洗濯が完了したら洗濯物を取り出す

- ・脱水が停止して洗濯が完了すると、**End**が表示されます。
- ・**ドアロック**アイコン(鍵)が消灯してドアロックは解除されます。

チャイルドロック(奥押し)		End		予約(※時間後)	洗剤(杯)
つぶ書き追加(+30分)		20分以上	60℃	18分	
14分		14分	40℃	10分	
12分	3回	12分	30℃	8分	
10分	2回	10分	20℃	6分	
8分	1回	8分	常温	4分	
おののみ設定(奥押し)		洗い時間	すすぎ回数	洗い温度	脱水時間

- ・給水栓を閉じてください。



- ・洗濯物はしわにならないように、早めに広げ、適切な方法で乾かしてください。

洗濯 大物（布団・毛布）コース

ふとん・毛布などの大物を洗濯するコースです。

1 洗濯物を確認する

- **大物（布団・毛布）コース**で洗える洗濯物の量は、2kgまでです。
- **大物（布団・毛布）コース**では、液体洗剤を使用してください。
- **洗い温度**を変更する場合、給水後温度を上げるために、常温での洗濯に比べて時間がかかることがあります。
- 給水水温によっては設定の温度まで水温が上がらないことがあります。
- 給水水温より低い温度に設定しても水温は下がりません。

※ 必ず表示を確認してください。

洗えるもの

 または  の表示があるふとん

 または  の表示があるふとん

- ・ 中わたがポリエステル100%の夏掛けふとん
- ・ 洗濯機で洗えると表示されている羽毛掛けふとん（シングルサイズ：150×210cm以下）

 または  の表示がある毛布

 または  の表示がある毛布

- ・ 合成繊維100%のマイヤー毛布・タフト毛布・織毛布（シングルまたはダブルサイズ：180×230cm以下）

※ 上記でも洗えないものがあります。

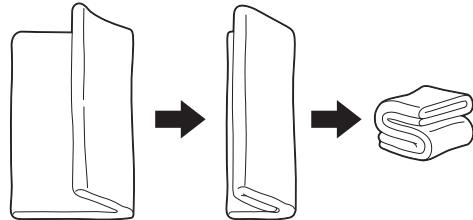
洗えないもの

- ・ 毛100%の毛布
- ・ 電気毛布
- ・ ロングパイルの毛布（毛足1cm以上）（風合いを損ねるおそれがあります。）
- ・ カーペットカバー（洗濯中にドアから水もれするおそれがあります。）
- ・ 側生地がタオル地のふとん（毛足1cm以上）（乾燥すると縮むおそれがあります。）
- ・ 中わたが、ポリエステル・羽毛以外のふとん
- ・ 洗濯表示記号の表示がないもの

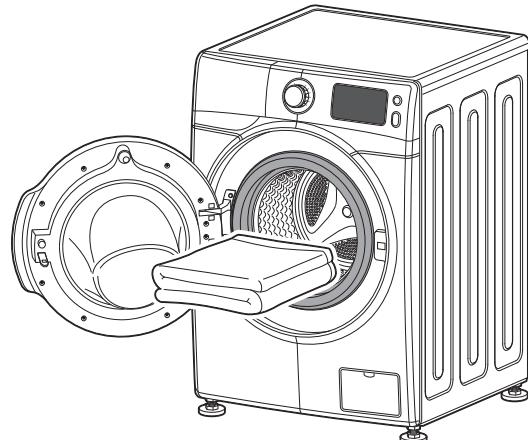
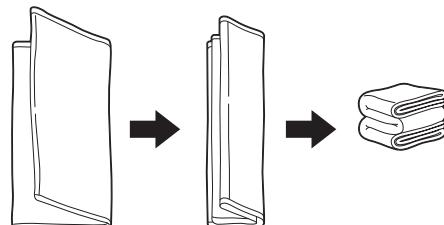
2 洗濯物を折りたたみ、ドラムに入れてドアを閉める

- ・ 入れる前に、ごみや糸くずを取り除いてください。
- ・ ふとんは縦に3つ折り、毛布は縦に4つ折りにし、さらにドラムに入る大きさに横にびょうぶ折りにしてください。（両方の端面が奥に行くようにしてください。）

ふとん



毛布



※ 洗濯物がはさまれないように注意してください。

洗濯物の量の目安

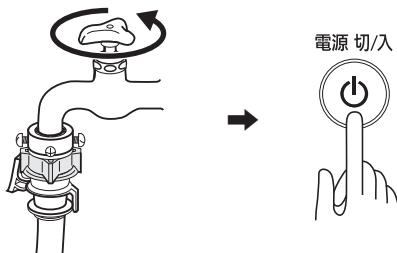
ふとん 1kg：折りたたんで、ドラムの1/2以下

毛布 2kg：折りたたんで、ドラムの1/3以下

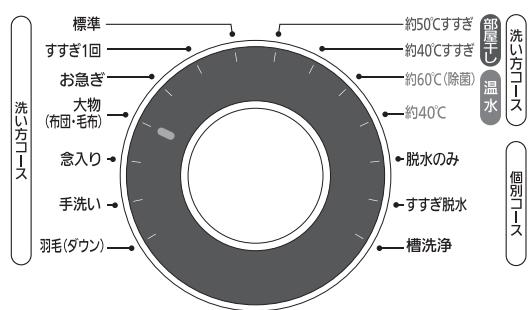
※ ドラムの半分以上を占めるような、かさのあるものは、2kg以内でも洗えません。

- ・ 洗濯機用毛布洗いネットは使用しないでください。脱水時にバランスを崩し、途中で停止します。
- ・ 2枚以上同時に入れないでください。

3 給水栓を開け、電源 切／入ボタンを押して電源を入れる



4 コース選択ダイヤルで大物（布団・毛布）を選ぶ



コース	初期設定				
	計量	洗い時間	すすぎ回数	洗い温度	脱水時間
大物 (布団・毛布)	する	20分以上	3回	常温	8分



※ コースの選択後、洗い時間・すすぎ回数・洗い温度・脱水時間などの設定を変更できます。つけ置き追加・脱水後布ほぐしなどの行程の追加もできます。 (→P32)

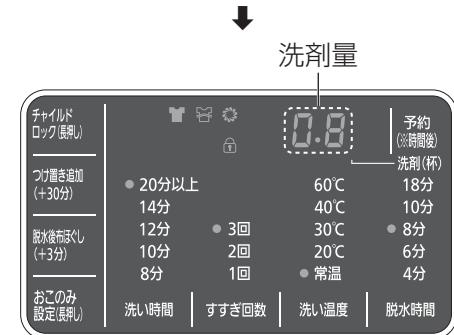
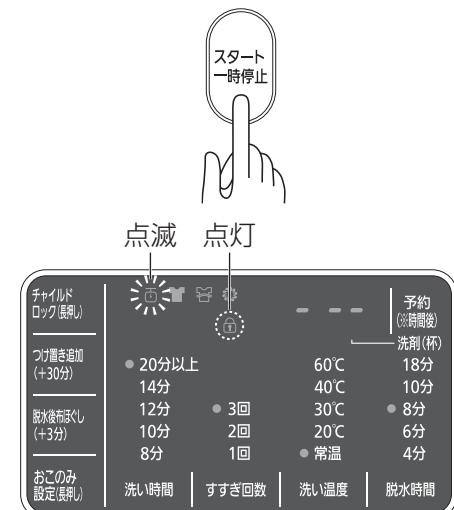
洗い温度を上げるときは

洗い時間は20分以上以外にしないでください。他の設定では水温が十分に上がりません。

※ コース選択ダイヤルでコースを選ばないで（ダイヤルのコースランプがすべて点灯）スタート／一時停止ボタンを押すと、標準コースで洗濯を始めます。

5 スタート／一時停止ボタンを押す

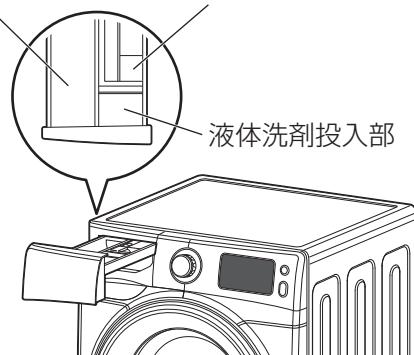
- ドアロックアイコン (🔒) が点灯して、ドアロックがかかります。（ドアロックについては11ページをご覧ください。）
- ドラムが回転して洗濯物を計量し（計量アイコン (⌚) が点滅）、それに合わせた洗剤量が表示され（約45秒後）、一時停止します（約20秒間）。



6 一時停止中に洗剤・柔軟剤を入れる

- 一時停止は20秒間です。
- 給水が始まってしまったときは、**スタート/一時停止**ボタンを押して一時停止してください。

粉末洗剤投入部 柔軟剤投入部



洗剤を入れる

- 洗剤投入ケースを引き出し、表示された洗剤量にもとづいて、洗剤投入部に洗剤を入れてください。
- 市販の洗剤は、一般に、水30Lあたりの使用量が記載されています。39ページの表を参照して、使用している洗剤ごとに、投入する量の参考にしてください。

※ 粉石けんは使用できません。

※ 他のコースについては、それぞれのページをご覧ください。

※ 泡立ちの良い洗剤は、少なめに入れてください。

※ 軽い汚れの場合は、洗剤を少なめにしてください。

※ 洗剤は入れすぎないでください。

必要に応じて漂白剤を入れる

- 39ページの表を参照して、使用している漂白剤ごとに、投入する量の参考にしてください。
- 洗剤と一緒に、洗剤投入部に入れてください。

柔軟剤を入れる

- 洗剤投入ケースの柔軟剤投入部へ入れてください。
- 39ページの表を参照して、使用している柔軟剤ごとに、投入する量の参考にしてください。

※ 種類によっては、低温などの影響で固まってしまうものがあります。低温になる場所での柔軟剤の保管は避けてください。

また、固まった柔軟剤は、必ず水やぬるま湯でよく溶かした後、使用してください。

- 洗濯がスタートすると、残り時間の目安が表示されます。

- スタート/一時停止ボタンを押して一時停止にした場合は、スタート/一時停止ボタンを押して洗濯をスタートしてください。

点滅 点灯 残り時間の目安

チャイルドロック(奥側)	20分以上	60°C	18分	予約(※時間短)
つめき追加(+30分)	14分	40°C	10分	洗剤(杯)
脱水後部まくし(+3分)	12分	30°C	8分	
おこのみ設定(奥側)	10分	20°C	6分	
	8分	常温	4分	
	● 20分以上 14分 12分 10分 8分	● 3回 2回 1回	● 常温	洗い時間 すすぎ回数 洗い温度 脱水時間

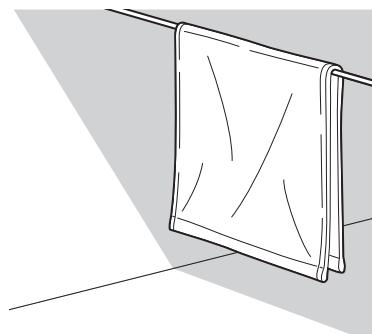
- 洗濯が進むにつれ、それぞれの行程で洗い時間アイコン(洗)・すすぎ回数アイコン(す)・脱水時間アイコン(脱)が点滅し、終了した行程は消灯します。
- 洗濯開始後でも、すすぎ回数と脱水時間の設定を変更できます。変更するときは、スタート/一時停止ボタンを押して洗濯を停止し、設定を変更したら、再度スタート/一時停止ボタンを押して洗濯を再開してください。

7 洗濯が完了したら洗濯物を取り出す

- 脱水が停止して洗濯が完了すると、Endが表示されます。
- ドアロックアイコン(閉)が消灯してドアロックは解除されます。

チャイルドロック(奥側)	20分以上	60°C	18分	予約(※時間短)
つめき追加(+30分)	14分	40°C	10分	洗剤(杯)
脱水後部まくし(+3分)	12分	30°C	8分	
おこのみ設定(奥側)	10分	20°C	6分	
	8分	常温	4分	
	● 20分以上 14分 12分 10分 8分	● 3回 2回 1回	● 常温	洗い時間 すすぎ回数 洗い温度 脱水時間

- 給水栓を閉じてください。
- 洗濯が完了したらすぐに取り出して、しわをのばすように広げ、風通しの良い直射日光の当たらぬいところで、乾かしてください。



洗濯 手洗いコース

デリケートな洗濯物が洗えるコースです。

1 洗濯物を確認する

- 手洗いコースで洗える洗濯物の量は、2kgまでです。
- 手洗いコースでは、液体中性洗剤を使用してください。
- 洗い温度を変更する場合、給水後温度を上げるために、常温での洗濯に比べて時間がかかることがあります。
- 給水水温によっては設定の温度まで水温が上がらないことがあります。
- 給水水温より低い温度に設定しても水温は下がりません。

※必ず表示を確認してください。

洗えるもの

 または  の表示があるもの

 または (F)、(P) の表示があるもの

- ・ウール・アンゴラ・カシミヤのセーター・カーディガンなど
- ・スラックス・スカート・学生服類
- ・ブラウス・シャツ・ランジェリー類

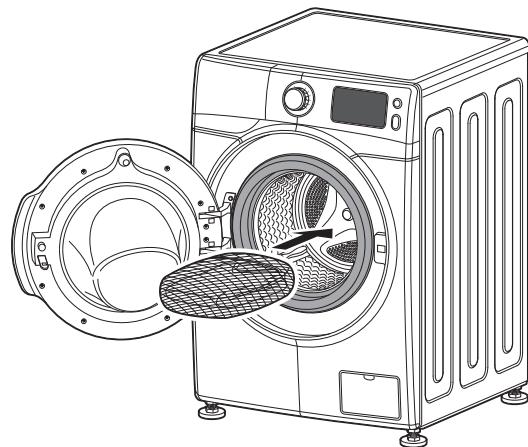
※上記でも洗えないものがあります。

洗えないもの

- ・水につけると、形くずれ・縮み・風合いの低下を起こしやすいもの
- ・皮革製品、または皮革・羽・毛皮などの飾りのあるもの
- ・シルク・レーヨン（ポリノジックを含む）・キュプラ及びその混紡品（裏地に使われているものでも洗わないでください。）
- ・スーツ・ジャケット・コート・ネクタイなど、形くずれしやすいもの
- ・コーティング・樹脂加工（接着剤を使用したもの）・エンボス加工・しわ加工がほどこされたもの
- ・ちりめんなどの強撚糸を使用したもの
- ・毛布・カーテンなど大きなもの・重いもの（大きなものは**大物（布団・毛布）**コースで洗ってください。）
- ・防水加工・撥水加工されたもの
- ・水で色落ちするもの

2 洗濯物を洗濯用ネットに入れ、ドラムに入れてドアを閉める

- ・入れる前に、ごみや糸くずを取り除いてください。
- ・衣類はドラムに入る大きさに折りたたみ、ドラムの底に平らに入れてください。



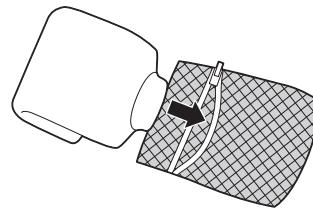
※洗濯物がはさまれないように注意してください。

- ・洗濯用ネットが1つだけの場合は、バランスを取るため、他の衣類も一緒にドラムに入れてください。洗濯用ネット1つだけだと衣類が1か所にかたよるため、脱水時の振動が大きくなります。

※バランスを取るために同時にに入る衣類は、タオルなど糸くずが出やすいものは避けてください。また、汚れのないものにしてください。

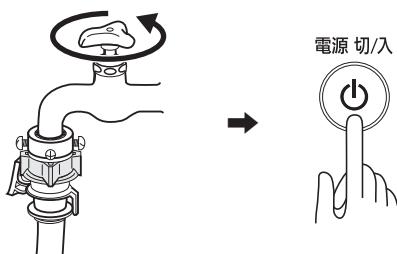
洗濯用ネットへの入れかた

- ・1枚ずつ、目の粗い市販の洗濯用ネットに入れしてください。
- ・衣類は裏返して、えり・そでなど汚れたところが表に出るようにしてください。

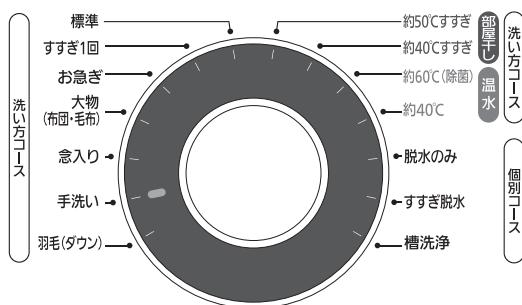


洗濯 手洗いコース つづき

3 給水栓を開け、電源 切／入ボタンを押して電源を入れる



4 コース選択ダイヤルで手洗いを選ぶ



コース	初期設定				
	計量	洗い時間	すぎ回数	洗い温度	脱水時間
手洗い	しない	10分	2回	常温	4分



- 洗濯時間の目安が表示されます。
- ※ コースの選択後、**洗い時間・すすぎ回数・洗い温度・脱水時間**などの設定を変更できます。脱水後布ほぐしの行程の追加もできます。 (→P32)

洗い温度を上げるときは
洗い時間を**20分以上**に設定してください。他の設定では水温が十分に上がりません。

※ コース選択ダイヤルでコースを選ばないで（ダイヤルのコースランプがすべて点灯）**スタート／一時停止**ボタンを押すと、**標準コース**で洗濯を始めます。

5 洗剤・柔軟剤を入れる



洗剤を入れる

- 液体中性洗剤を使用してください。
- 洗剤投入ケースを引き出し、39ページの表を参考にして、標準水量 (→P51、28L) に合わせた量（目安として計量カップ約0.6杯）を投入してください。
- ※ 洗剤は入れすぎないでください。
- ・ **手洗いコース**では漂白剤は入れないでください。

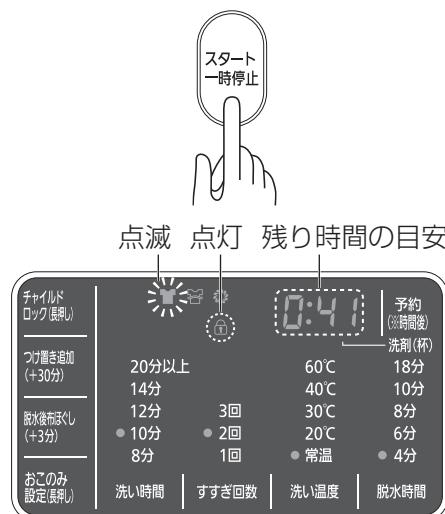


柔軟剤を入れる

- 洗剤投入ケースの柔軟剤投入部へ入れてください。
- 39ページの表を参照して、使用している柔軟剤ごとに、投入する量の参考にしてください。
- ※ 種類によっては、低温などの影響で固まってしまうものがあります。低温になる場所での柔軟剤の保管は避けてください。
- また、固まった柔軟剤は、必ず水やぬるま湯でよく溶かした後、使用してください。

6 スタート／一時停止ボタンを押す

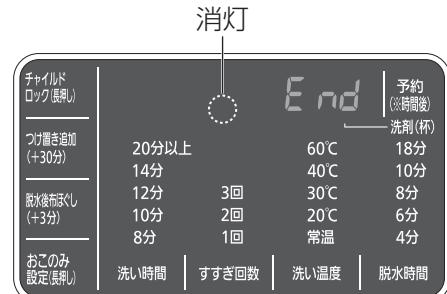
- ドアロックアイコン(⑥)が点灯して、ドアロックがかかります。(ドアロックについては11ページをご覧ください。)
- 洗濯物の計量はせず、給水から始まります。
- 洗濯がスタートすると、洗濯時間の表示は、残り時間の目安になります。



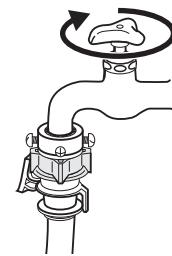
- 洗濯が進むにつれ、それぞれの行程で洗い時間アイコン(洗濯機)・すすぎ回数アイコン(回数)・脱水時間アイコン(脱水)が点滅し、終了した行程は消灯します。
- 洗濯のスタート後でも、すすぎ回数と脱水時間の設定を変更できます。変更するときは、スタート／一時停止ボタンを押して洗濯を停止し、設定を変更したら、再度スタート／一時停止ボタンを押して洗濯を再開してください。

7 洗濯が完了したら洗濯物を取り出す

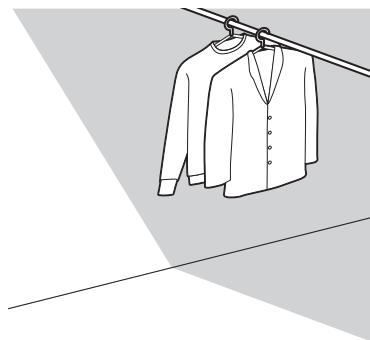
- 脱水が停止して洗濯が完了すると、Endが表示されます。
- ドアロックアイコン(⑥)が消灯してドアロックは解除されます。



- 給水栓を閉じてください。



- 洗濯が完了したらすぐに取り出して、しわをのばすように広げ、風通しの良い直射日光の当たらないところで、乾かしてください。



洗濯 羽毛（ダウソ）コース

ダウソジャケットなど羽毛製品が洗えるコースです。

1 洗濯物を確認する

- **羽毛（ダウソ）コース**では、給水後洗い温度を上げるために、常温での洗濯に比べて時間がかかることがあります。
- **羽毛（ダウソ）コース**で洗える洗濯物の量は、2kgまでです。
- 給水水温によっては設定の温度まで水温が上がらないことがあります。
- 給水水温より低い温度に設定しても水温は下がりません。

※ 必ず表示を確認してください。

洗えるもの

 または  の表示があるダウソジャケット

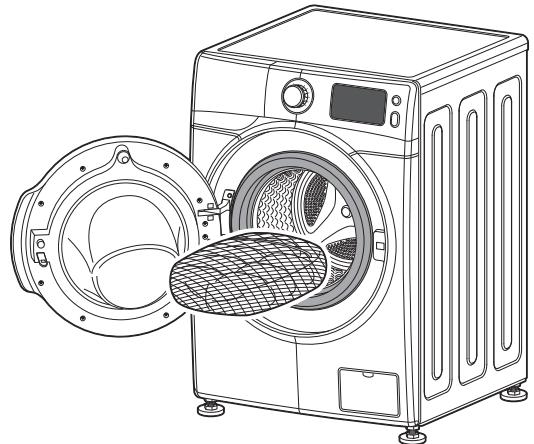
 または  の表示があるダウソジャケット

洗えないもの

- ・ 表地・裏地・飾りなどに次のようなものが使われているもの
水につけると、形くずれ・縮み、風合いの低下を起こしやすいもの
皮革・羽・毛皮など
シルク・レーヨン（ポリノジックを含む）・キュプラ及びその混紡品
- ・ コーティング・樹脂加工（接着剤を使用したもの）・エンボス加工・しわ加工がほどこされたもの
- ・ 羽毛ふとんなどの重いもの
- ・ 防水加工・撥水加工されたもの
- ・ 水で色落ちするもの
- ・ 毛皮のフードなどは外してください。
- ・ ボタン・ファスナーは閉めてください。
- ・ そで口・えりなどに汚れが付いている場合は、洗剤液を含ませた布などで軽くたたいて、洗剤をしみこませてください。

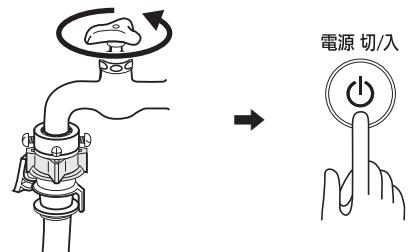
2 洗濯物を洗濯用ネットに入れ、ドラムに入れてドアを閉める

- ・ 1着ずつ別々に洗濯用ネットに入れてください。
- ・ 1着だけの場合は、洗濯用ネットに入れて、浮き防止のためバスタオルで包んでください。さらに、バランスを取るために他の衣料も一緒にドラムに入れてください。

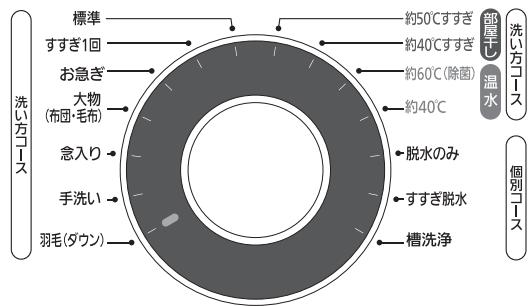


※ 洗濯物がはさまれないように注意してください。

3 給水栓を開け、電源 切／入ボタンを押して電源を入れる



4 コース選択ダイヤルで羽毛（ダウ）ンを選ぶ



コース	初期設定				
	計量	洗い時間	すすぎ回数	洗い温度	脱水時間
羽毛（ダウ）ン	しない	20分以上	2回	30°C	6分



- 洗濯時間の目安が表示されます。
- ※ コースの選択後、すすぎ回数・洗い温度・脱水時間などの設定を変更できます。（→P32）
- ※ コース選択ダイヤルでコースを選ばないで（ダイヤルのコースランプがすべて点灯）スタート/一時停止ボタンを押すと、標準コースで洗濯を始めます。

5 洗濯物の量に合わせて洗剤を入れる



- ダウ専用洗剤を使用してください。
- 洗剤投入ケースを引き出し、洗剤のパッケージなどの表記を参考に、標準水量（→P51、28L）に合わせた量を投入してください。
- ※ 洗剤は入れすぎないでください。
- 羽毛（ダウ）ンコースでは漂白剤は入れないでください。

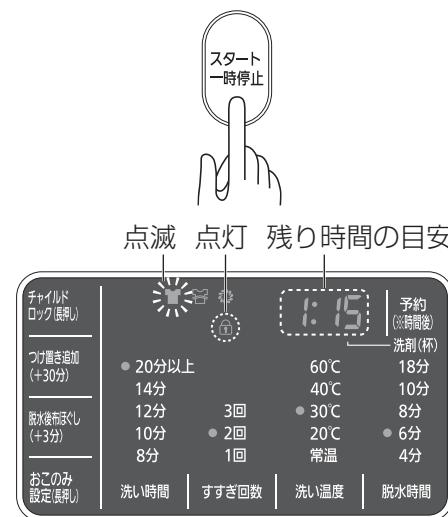


- 柔軟剤は使用しないでください。



6 スタート／一時停止ボタンを押す

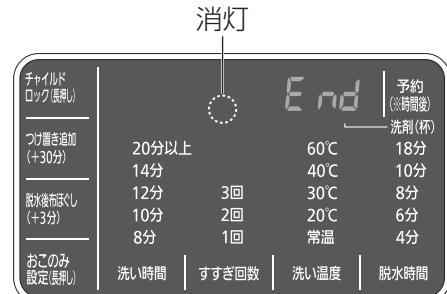
- ドアロックアイコン（）が点灯して、ドアロックがかかります。（ドアロックについては11ページをご覧ください。）
- 洗濯物の計量はせず、給水から始まります。
- 洗濯がスタートすると、洗濯時間の表示は、残り時間の目安になります。



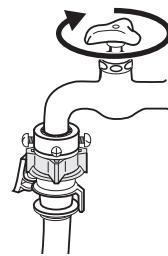
- 給水された水は、30℃に温められます。
- 洗濯が進むにつれ、それぞれの行程で洗い時間アイコン（）・すすぎ回数アイコン（）・脱水時間アイコン（）が点滅し、終了した行程は消灯します。
- 洗濯のスタート後でも、すすぎ回数と脱水時間の設定を変更できます。変更するときは、スタート／一時停止ボタンを押して洗濯を停止し、設定を変更したら、再度スタート／一時停止ボタンを押して洗濯を再開してください。

7 洗濯が完了したら洗濯物を取り出す

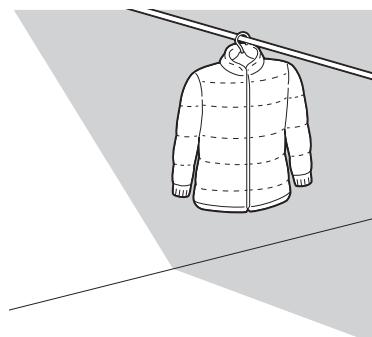
- 脱水が停止して洗濯が完了すると、Endが表示されます。
- ドアロックアイコン（）が消灯してドアロックは解除されます。



- 給水栓を閉じてください。



- 洗濯が完了したらすぐに取り出して、太めのハンガーにかけ、風通しの良い直射日光の当たらないところで、2～3日乾かしてください。
- ※中にすき間ができる風通しがよくなるよう、太めで大きめのハンガーを使用してください



- 1日経ったところで、ダウンジャケットをふったり、たたいたりした後、再びハンガーにかけてください。
- 完全に乾かぬうちに、ふったり、たたいたりすることで、羽毛のくつきを防止します。
- さらに1～2日ハンガーにかけて干すことで、ダウンジャケットのふくらみが復活します。
- 乾燥機を使用する場合は、乾燥機の低温モードで乾燥してください。

洗濯 部屋干し (約50°Cすすぎ・約40°Cすすぎ) コース

最後のすすぎに50°Cまたは40°Cの温水を使用し、洗濯後の乾燥時間を短縮します。

- 最後のすすぎで、給水後洗い温度を上げたり、脱水時洗い温度を下げたりするために、常温での洗濯に比べて時間がかかることがあります。
- 給水水温によっては、設定の温度まで水温が上がらないことがあります。
- 部屋干しコースで洗える洗濯物の量は、4kgまでです。

1 洗濯物を確認する

※必ず表示を確認してください。

洗えるもの

- ・約50°Cすすぎコース：「50°Cを限度として洗濯機で洗濯可能」なマーク付きの衣料、またはそれ以上の温度で洗濯機で洗濯可能なマーク付きの衣料
- ・約40°Cすすぎコース：「40°Cを限度として洗濯機で洗濯可能」なマーク付きの衣料、またはそれ以上の温度で洗濯機で洗濯可能なマーク付きの衣料

※上記でも洗えないものがあります。



洗えないもの

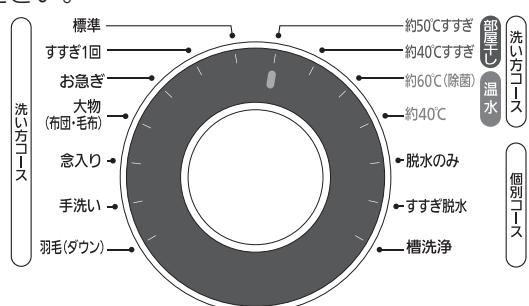
- ・色柄もの
- ・プリント柄のもの
- ・芯材のあるもの
- ・カーペットカバー・1kgを超える毛布（洗濯中にドアから水もれするおそれがあります。）
- ・ゴム素材を使用した伸縮性のあるもの
- ・洗濯表示記号の表示がないもの

2 洗濯物をドラムに入れて、ドアを閉める

3 給水栓を開け、電源 切／入ボタンを押して電源を入れる

4 コース洗濯ダイヤルで部屋干し (約50°Cすすぎまたは約40°Cすすぎ) を選ぶ

- ・約50°Cすすぎの方が、乾燥時間はより短縮できますが、衣類の種類によってコースを使い分けてください。



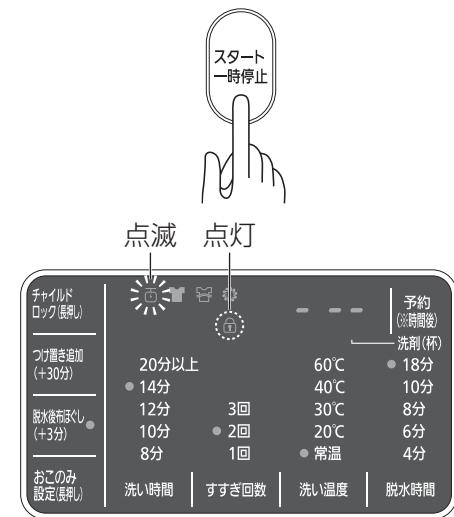
コース	初期設定				
	計量	洗い時間	すすぎ回数	洗い温度	脱水時間
部屋干し 約50°C すすぎ	する	14分	2回	常温	18分
部屋干し 約40°C すすぎ	する	14分	2回	常温	18分

※コースの選択後、洗い時間・すすぎ回数・脱水時間などの設定を変更できます。（→P32）

※コース選択ダイヤルでコースを選ばないで（ダイヤルのコースランプがすべて点灯）スタート／一時停止ボタンを押すと、標準コースで洗濯を始めます。

5 スタート／一時停止ボタンを押す

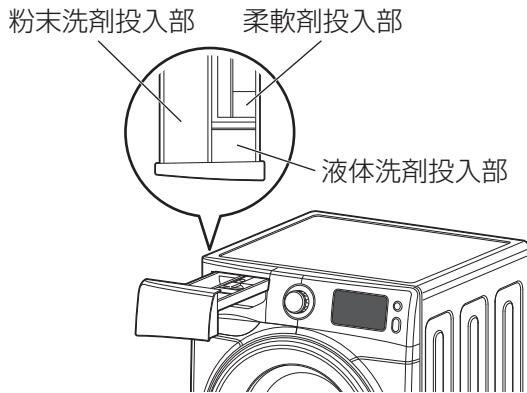
- ・ドアロックアイコン（）が点灯して、ドアロックがかかります。（ドアロックについては11ページをご覧ください。）
- ・ドラムが回転して洗濯物を計量し（計量アイコン（）が点滅）、それに合わせた洗剤量が表示され（約45秒後）、一時停止します（約20秒間）。



つづく→

6 一時停止中に洗剤・柔軟剤を入れる

- 一時停止は20秒間です。
- 給水が始まってしまったときは、**スタート/一時停止**ボタンを押して一時停止してください。



洗剤を入れる

- 洗剤投入ケースを引き出し、表示された洗剤量にもとづいて、洗剤投入部に洗剤を入れてください。
- 市販の洗剤は、一般に、水30Lあたりの使用量が記載されています。39ページの表を参照して、使用している洗剤ごとに、投入する量の参考にしてください。

※ 粉石けんは使用できません。

※ 他のコースについては、それぞれのページをご覧ください。

※ 泡立ちの良い洗剤は、少なめに入れてください。

※ 軽い汚れの場合は、洗剤を少なめにしてください。

※ 洗剤は入れすぎないでください。

必要に応じて漂白剤を入れる

- 39ページの表を参照して、使用している漂白剤ごとに、投入する量の参考にしてください。
- 洗剤と一緒に、洗剤投入部に入れてください。

柔軟剤を入れる

- 洗剤投入ケースの柔軟剤投入部へ入れてください。
- 39ページの表を参照して、使用している柔軟剤ごとに、投入する量の参考にしてください。

※ 種類によっては、低温などの影響で固まってしまうものがあります。低温になる場所での柔軟剤の保管は避けてください。

また、固まった柔軟剤は、必ず水やぬるま湯でよく溶かした後、使用してください。

- 洗濯がスタートすると、残り時間の目安が表示されます。

- スタート/一時停止ボタンを押して一時停止にした場合は、スタート/一時停止ボタンを押して洗濯をスタートしてください。

点滅 残り時間の目安

チャイルドロック(奥押し)		2:31		予約(※時間後)
つぎ書き追加(+30分)	● 14分	60°C	18分	洗剤(杯)
脱水後布ほぐし(+3分)	12分	40°C	10分	
	10分	30°C	8分	
	8分	20°C	6分	
おとのみ設定(奥押し)	1回	常温	4分	
		洗い時間	すすぎ回数	洗い温度
				脱水時間

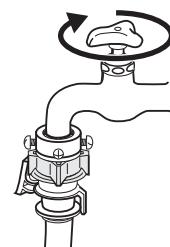
- 洗濯が進むにつれ、それぞれの行程で洗い時間アイコン(洗濯機)・すすぎ回数アイコン(回数)・脱水時間アイコン(脱水)が点滅し、終了した行程は消灯します。
- 脱水の終了後、3分間脱水後布ほぐしを行います。
- 洗濯のスタート後でも、すすぎ回数と脱水時間の設定を変更できます。変更するときは、スタート/一時停止ボタンを押して洗濯を停止し、設定を変更したら、再度スタート/一時停止ボタンを押して洗濯を再開してください。

7 洗濯が完了したら洗濯物を取り出す

- 洗濯が完了すると、Endが表示されます。
- ドアロックアイコン(鍵)が消灯してドアロックは解除されます。

チャイルドロック(奥押し)		End		予約(※時間後)
つぎ書き追加(+30分)	20分以上	60°C	18分	洗剤(杯)
	14分	40°C	10分	
	12分	30°C	8分	
	10分	20°C	6分	
	8分	常温	4分	
おとのみ設定(奥押し)	洗い時間	すすぎ回数	洗い温度	脱水時間

- 給水栓を閉じてください。



- 洗濯物はしわにならないように、早めに広げ、適切な方法で乾かしてください。

洗濯 溫水（約60°C（除菌）・約40°C）コース

温水 約60°C（除菌）コース

約60°Cの温水で洗濯します。

綿素材の除菌などが行えます。においが気になる場合などに使用してください。

温水 約40°Cコース

約40°Cの温水で洗濯します。

油汚れや皮脂よごれなどを落とすのに適しています。

●給水水温によっては、設定の温度まで水温が上がらないことがあります。

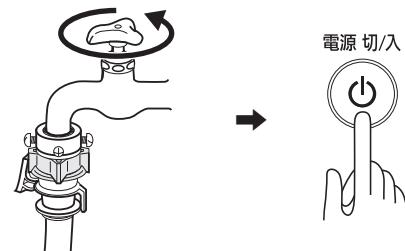
●給水後洗い温度を上げたり、脱水時洗い温度を下げたりするために、常温での洗濯に比べて時間がかかることがあります。

●**約60°C（除菌）**コースでは、洗いの途中で一時停止しても、ドアロックが解除せず、ドアを開けることはできません。洗濯水の温度が下がってから、ドアロックが解除されます。

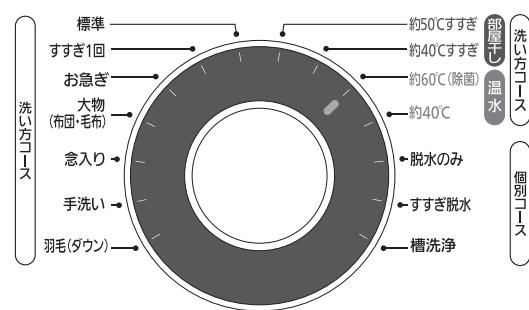
●**約60°C（除菌）**コースで洗える洗濯物の量は、2kgまでです。

●**約40°C**コースで洗える洗濯物の量は、4kgまでです。

3 給水栓を開け、電源 切／入ボタンを押して電源を入れる



4 コース洗濯ダイヤルで**温水（約60°C（除菌）または約40°C）**コースを選ぶ



1 洗濯物を確認する

※必ず表示を確認してください。

洗えるもの

・**温水 約60°C（除菌）**コース：「60°Cを限度として洗濯機で洗濯可能なマーク」付きの衣料、または「それ以上の温度で洗濯機で洗濯可能なマーク」付きの衣料



・**温水 約40°C**コース：「40°Cを限度として洗濯機で洗濯可能なマーク」付きの衣料、または「それ以上の温度で洗濯機で洗濯可能なマーク」付きの衣料

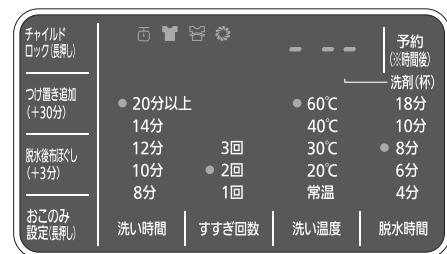


※上記でも洗えないものがあります。

洗えないもの

- ・色柄もの
- ・プリント柄のもの
- ・芯材のあるもの
- ・カーペットカバー・1kgを超える毛布（洗濯中にドアから水もれするおそれがあります。）
- ・ゴム素材を使用した伸縮性のあるもの
- ・洗濯表示記号の表示がないもの

コース	初期設定				
	計量	洗い時間	すすぎ回数	洗い温度	脱水時間
温水 約60°C（除菌）	する	20分以上	2回	60°C	8分
温水 約40°C	する	20分以上	2回	40°C	8分



※コースの選択後、すすぎ回数・洗い温度・脱水時間などの設定を変更できます。（→P32）

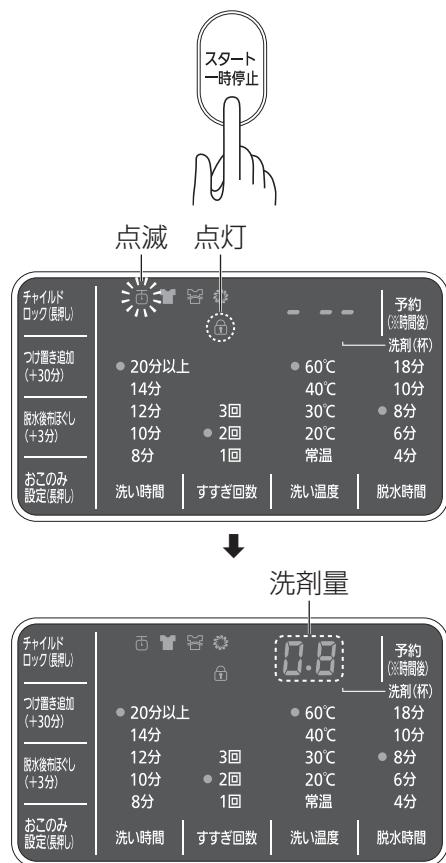
※コース選択ダイヤルでコースを選ばないで（ダイヤルのコースランプがすべて点灯）スタート／一時停止ボタンを押すと、標準コースで洗濯を始めます。

2 洗濯物をドラムに入れて、ドアを閉める

つづく→

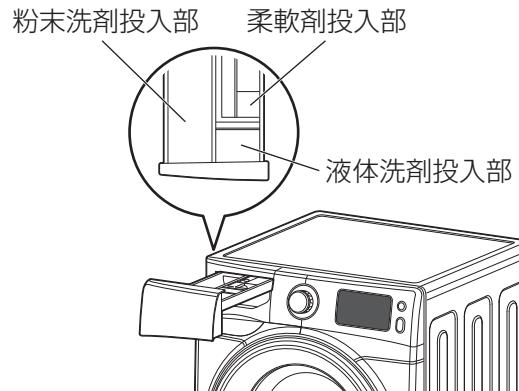
5 スタート／一時停止ボタンを押す

- ドアロックアイコン（Ⓐ）が点灯して、ドアロックがかかります。（ドアロックについては11ページをご覧ください。）
- ドラムが回転して洗濯物を計量し（計量アイコン（Ⓑ）が点滅）、それに合わせた洗剤量が表示され（約45秒後）、一時停止します（約20秒間）。



6 一時停止中に洗剤・柔軟剤を入れる

- 一時停止は20秒間です。
- 給水が始まってしまったときは、**スタート／一時停止ボタン**を押して一時停止してください。



洗剤を入れる

- 洗剤投入ケースを引き出し、表示された洗剤量にもとづいて、洗剤投入部に洗剤を入れてください。
- 温水コースでは、常温の15%増しで洗剤を投入します。39ページの表を参照して、使用している洗剤ごとに、少し多めに投入してください。

※ 粉石けんは使用できません。

※ 他のコースについては、それぞれのページをご覧ください。

※ 泡立ちの良い洗剤は、少なめに入れてください。

※ 軽い汚れの場合は、洗剤を少なめにしてください。

※ 洗剤は入れすぎないでください。

必要に応じて漂白剤を入れる

- 39ページの表を参照して、使用している漂白剤ごとに、投入する量の参考にしてください。
- 洗剤と一緒に、洗剤投入部に入れてください。

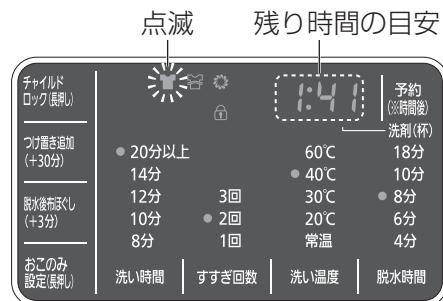
柔軟剤を入れる

- 洗剤投入ケースの柔軟剤投入部へ入れてください。
- 39ページの表を参照して、使用している柔軟剤ごとに、投入する量の参考にしてください。

※ 種類によっては、低温などの影響で固まってしまうものがあります。低温になる場所での柔軟剤の保管は避けてください。

また、固まった柔軟剤は、必ず水やぬるま湯でよく溶かした後、使用してください。

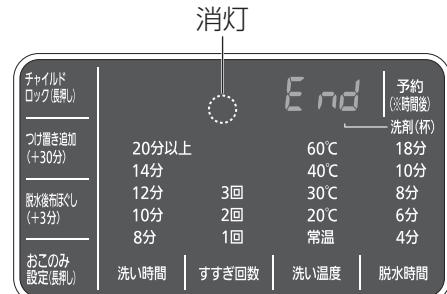
- 洗濯がスタートすると、残り時間の目安が表示されます。
- スタート／一時停止ボタン**を押して一時停止にした場合は、**スタート／一時停止ボタン**を押して洗濯をスタートしてください。



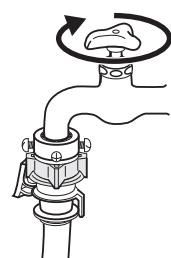
- 洗濯が進むにつれ、それぞれの行程で**洗い時間**アイコン (👕)・**すすぎ回数**アイコン (🚿)・**脱水時間**アイコン (-spin) が点滅し、終了した行程は消灯します。
- 洗濯のスタート後でも、**すすぎ回数**と**脱水時間**の設定を変更できます。変更するときは、**スタート／一時停止ボタン**を押して洗濯を停止し、設定を変更したら、再度**スタート／一時停止ボタン**を押して洗濯を再開してください。

7 洗濯が完了したら洗濯物を取り出す

- 脱水が停止して洗濯が完了すると、**End**が表示されます。
- ドアロック**アイコン (🔒) が消灯してドアロックは解除されます。



- 給水栓を閉じてください。



- 洗濯物はしわにならないように、早めに広げ、適切な方法で乾かしてください。

洗濯 脱水のみコース

脱水のみを行うコースです。洗いとすすぎの行程はありません。

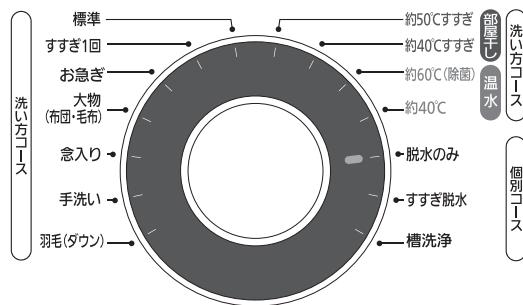
1 電源 切／入ボタンを押して電源を入れる



※ ドラムにぬれた衣類が入っていることを確認してください。

※ 乾いた衣類を入れたり、ドラムがからの状態で脱水のみの運転を行わないでください。

2 コース選択ダイヤルで脱水のみを選ぶ



コース	初期設定				
	計量	洗い時間	すすぎ回数	洗い温度	脱水時間
脱水のみ	しない	なし	なし	なし	8分

・時間の目安が表示されます。

※ コースの選択後、**脱水時間**の設定を変更できます。
(→P32)

※ コース選択ダイヤルでコースを選ばないで（ダイヤルのコースランプがすべて点灯）**スタート／一時停止**ボタンを押すと、**標準**コースで洗濯を始めます。

・**脱水時間**を脱水なしにした場合（**脱水時間**ランプがすべて消灯）は、排水のみ行います。

3 スタート／一時停止ボタンを押す

- ・ドアロックアイコン（锁定）が点灯して、ドアロックがかかります。（ドアロックについては11ページをご覧ください。）
- ・最初ドラムが動いて、ドラムに水が残っている場合は排水し、洗濯物をほぐした後、回転が速くなり脱水します。
- ・スタートすると、時間の表示は、残り時間の目安になります。



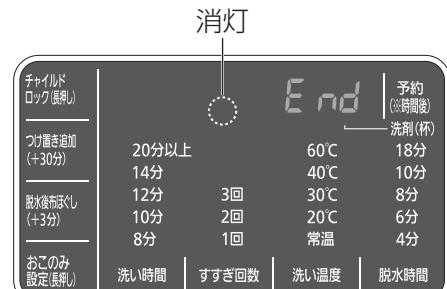
- ・スタート後でも、**脱水時間**の設定を変更できます。変更するときは、**スタート／一時停止**ボタンを押して洗濯を停止し、設定を変更したら、再度**スタート／一時停止**ボタンを押して洗濯を再開してください。



- ・脱水中は、**脱水時間**アイコン（）が点滅します。

4 脱水が終了したら洗濯物を取り出す

- ・脱水が完了すると、**End**が表示されます。
- ・ドアロックアイコン（锁定）が消灯してドアロックは解除されます。

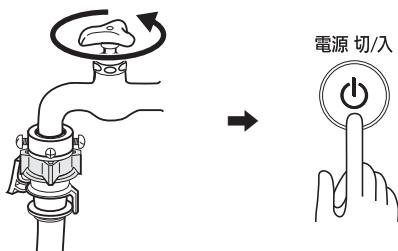


- ・洗濯物はしわにならないように、早めに広げ、適切な方法で乾かしてください。

洗濯 すすぎ脱水コース

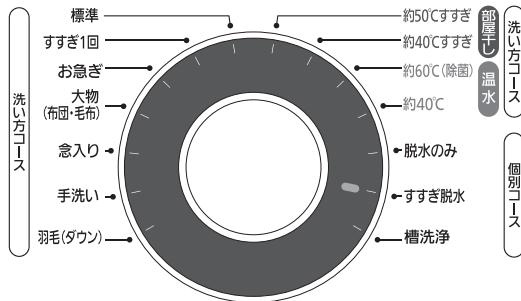
すすぎと脱水のみ行うコースです。洗いの行程はありません。

1 給水栓を開け、電源 切／入ボタンを押して電源を入れる



2 洗濯物を入れ、ドアを閉める

3 コース選択ダイヤルですすぎ脱水を選ぶ



個別 コース	初期設定				
	計量	洗い時間	すすぎ回数	洗い温度	脱水時間
すすぎ脱水	しない	なし	1回	なし	8分

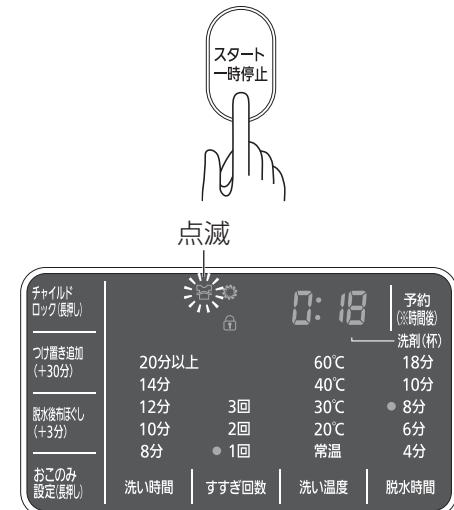
- 時間の目安が表示されます。

※ コースの選択後、**すすぎ回数**・**脱水時間**などの設定を変更できます。 (→P32)

※ コース選択ダイヤルでコースを選ばないで (ダイヤルのコースランプがすべて点灯) **スタート／一時停止**ボタンを押すと、**標準コース**で洗濯を始めます。

4 スタート／一時停止ボタンを押す

- ドアロックアイコン (🔒) が点灯して、ドアロックがかかります。(ドアロックについては11ページをご覧ください。)
 - 洗濯物の計量はせず、すすぎが始まります。
- ※ **すすぎ脱水**コースでは、最初に排水をするため、給水されるまで1分程度かかることがあります。
- スタートすると、時間の表示は、残り時間の目安になります。



- 洗濯が進むにつれ、それぞれの行程で**すすぎ回数**アイコン (✿)・**脱水時間**アイコン (✿) が点滅し、終了した行程は消灯します。
- スタート後でも、**すすぎ回数**と**脱水時間**の設定を変更できます。変更するときは、**スタート／一時停止**ボタンを押して洗濯を停止し、設定を変更したら、再度**スタート／一時停止**ボタンを押して洗濯を再開してください。

5 すべての行程が終了したら洗濯物を取り出す

- 脱水が停止して**すすぎ脱水**が完了すると、**End**が表示されます。
- ドアロックアイコン (🔒) が消灯してドアロックは解除されます。



- 給水栓を閉じてください。
- 洗濯物はしわにならないように、早めに広げ、適切な方法で乾かしてください。

洗濯

コース設定を変更して洗濯する

各々のコースは、洗い時間やすすぎ回数、洗い温度、脱水時間などが標準で設定されています。お好みで、これらを変更して洗濯することができます。

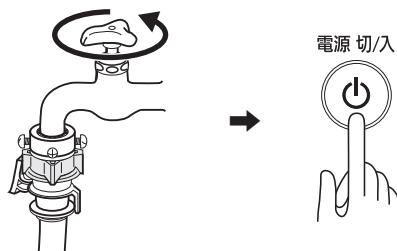
洗濯の途中で設定を変更するには

- ① **スタート／一時停止ボタン**を押して一時停止する
- ② **すすぎ回数・脱水時間の設定・脱水後布ほぐしの追加などを変更する**
- ③ **再度スタート／一時停止ボタン**を押して、洗濯を再開する

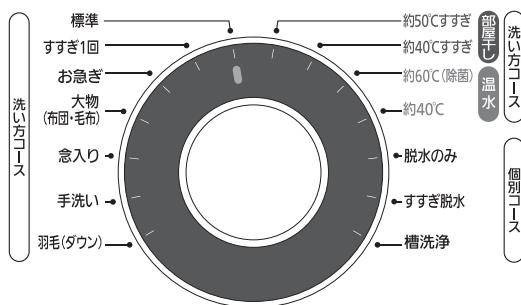
1 洗濯物を確認して、ドラムに入れ、ドアを閉める

- ・各コースで洗えるもの、各コースの行程を変更したときに洗えるものを確認してください。

2 給水栓を開け、電源 切／入ボタンを押して電源を入れる



3 コース選択ダイヤルでコースを選ぶ



4 設定を変更する

洗い時間

- ・洗い時間キーを押すたびに、洗いの時間が次のように変わります。



8分 → 10分 → 12分 → 14分 → 20分以上

- ・各コースで選べる洗い時間は違います。コース設定一覧を参照して選んでください。(→P35)

洗い温度を上げるときは

洗い時間を20分以上に設定してください。他の設定では水温が十分に上がりません。

洗い温度

- ・洗い温度キーを押すたびに、洗いの水温が次のように変わります。



常温 → 20°C → 30°C → 40°C → 60°C

- ・各コースで選べる洗い温度は違います。コース設定一覧を参照して選んでください。(→P35)
- ・冬季など、給水水温が低く洗剤が溶けにくいときは、洗い温度を20°Cに設定してください。
- ・30°C、40°C、60°Cは、洗濯する衣料が、設定する温度以上で洗濯機で洗濯可能なマーク (40°C, 60°C) が付いていることを確認してください。

つけ置き追加

- つけ置き追加 (+30分) キーを押すと、つけ置きの行程を追加することができます。
厚手のものや汚れの激しいものなどを洗濯するときには、使用してください。



- 再度つけ置き追加 (+30分) キーを押すと、つけ置き行程の追加はキャンセルされます。

※つけ置き行程を設定できるのは、以下のコースのみです。

標準コース・大物コース・念入りコース・部屋干しコース・温水コース

- つけ置き追加を設定したときは、洗濯が始まった後、ドラムが時々回転しながら30分間のつけ置き洗いを行います。その後、選んだコースの洗濯を行います。

すすぎ回数

- すすぎ回数キーを押すたびに、すすぎの回数が次のように変わります。



→ 1回 → 2回 → 3回

- 各コースで選べるすすぎ回数は違います。コース設定一覧を参照して選んでください。(→P35)

脱水時間

- 脱水時間キーを押すたびに、脱水時間が次のように切り替わります。



→ 4分 → 6分 → 8分 → 10分 → 18分
消灯 (脱水なし)

- 脱水時間を脱水なしにした場合(脱水時間ランプがすべて消灯)は、排水のみ行います。
- 各コースで選べる脱水時間は違います。コース設定一覧を参照して選んでください。(→P35)

脱水後布ほぐし

- 脱水後布ほぐし (+3分) キーを押すと、脱水の最後に布ほぐしの行程を追加することができます。しわになりにくく仕上げ、アイロン掛けを軽減します。



- 部屋干しコースは、脱水後布ほぐしが初期設定で追加されています。
- 再度、脱水後布ほぐし (+3分) キーを押すと、脱水後布ほぐしの行程はキャンセルされます。

脱水後布ほぐしとは

脱水終了後、洗濯物がドラムに張り付かないように、細かくドラムの回転を制御してほぐす機能です。

5 洗剤・漂白剤・柔軟剤を入れる

- 洗剤投入ケースを引き出し、洗剤投入部に洗剤を入れてください。

※軽い汚れの場合は、洗剤を少なめにしてください。

※洗剤は入れすぎないでください。

- コースによっては、スタート/一時停止ボタンを押して、洗濯物の計量をした後に洗剤量が表示されます。そのときは、洗剤量の表示後の一時停止中に、洗剤・漂白剤・柔軟剤を入れてください。

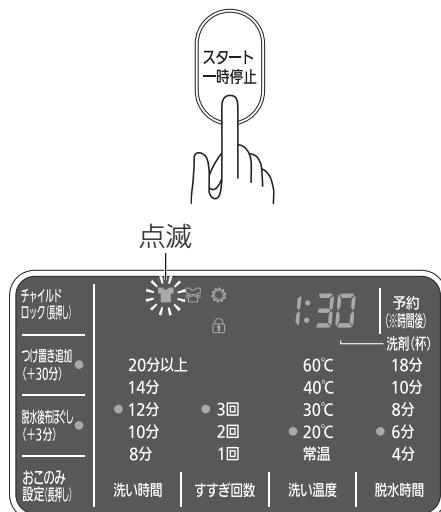
- 洗濯物の計量をしないコース(手洗い・羽毛)では、39ページの表を参考にして、標準水量(→P51、28L)に合わせた量を投入してください。

洗濯

コース設定を変更して洗濯する つづき

6 スタート／一時停止ボタンを押す

- ドアロックアイコン(鍵)が点灯して、ドアロックがかかります。(ドアロックについては11ページをご覧ください。)
- コースによっては、ドラムが回転して洗濯物を計量し(計量アイコン(匁)が点滅)、それに合わせた洗剤量が表示され(約45秒後)、一時停止します(約20秒間)。一時停止中に、洗剤・漂白剤・柔軟剤を入れてください。
- 給水が始まってしまったときは、**スタート／一時停止ボタン**を押して一時停止にしてください。洗剤・漂白剤・柔軟剤の投入後、再度**スタート／一時停止ボタン**を押すと洗濯が始まります。
- 計量行程のないコースは、決まった水量が給水され、洗濯が始まります。
- 洗濯がスタートすると、残り時間の目安が表示されます。



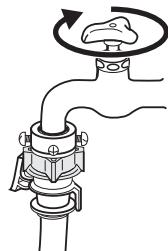
- 洗濯が進むにつれ、それぞれの行程で**洗い時間**アイコン(匁)・**すすぎ回数**アイコン(匁)・**脱水時間**アイコン(氷)が点滅し、終了した行程は消灯します。
- 洗濯のスタート後でも、**すすぎ回数**と**脱水時間**の設定、**脱水後布ほぐし**の追加を変更できます。変更するときは、**スタート／一時停止**ボタンを押して洗濯を停止し、設定を変更したら、再度**スタート／一時停止**ボタンを押して洗濯を再開してください。

7 洗濯が終了したら洗濯物を取り出す

- 洗濯が完了すると、**End**が表示されます。
- ドアロックアイコン(鍵)が消灯してドアロックは解除されます。

消灯		End		予約 (※時間後)	
チャイルド ロック(原則)				洗剤(杯)	
つぎ書き追加 (+30分)		20分以上	60℃	18分	
		14分	40℃	10分	
脱水後布ほぐし (+3分)		12分	3回	30℃	8分
		10分	2回	20℃	6分
おこのみ 設定(原則)		8分	1回	常温	4分
		おこのみ 設定(原則)		洗い時間	すすぎ回数
				洗い温度	脱水時間

- 給水栓を閉じてください。



- 洗濯物はしわにならないように、早めに広げ、適切な方法で乾かしてください。

コース設定一覧と設定可能な行程

◎：初期設定 ○：選択可能 ×：選択不可

設定	選択肢	洗い方コース										個別コース			
		標準	すぎ 1回	お急ぎ	大物 (布団・毛布)	念入り	手洗い	羽毛 (ダウソ)	部屋干し		温水		脱水 のみ	すぎ 脱水	槽洗浄
洗い 時間	20分以上	○	○	×	○	○	○	○	約50℃ すぎ	約40℃ すぎ	約60℃ (除菌)	約40℃	○	×	○
	14分	◎	○	×	○	○	○	×	○	○	×	×	×	×	×
	12分	○	○	×	○	×	○	×	○	○	×	×	×	×	×
	10分	○	○	○	○	×	○	×	○	○	×	×	×	×	×
	8分	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×
すすぎ 回数	3回	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	2回	◎	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1回	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
洗い 温度	60℃	×	×	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	×	○
	40℃	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○
	30℃	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	×	○
	20℃	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○
	常温	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○
脱水 時間	18分	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	○	×
	10分	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×
	8分	◎	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
	6分	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×
	4分	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×
	脱水 なし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
つけ置き追加 (+30分)		○	×	×	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	×
脱水後布ほぐし (+3分)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

その他の機能

予約	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
洗濯物計量	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×

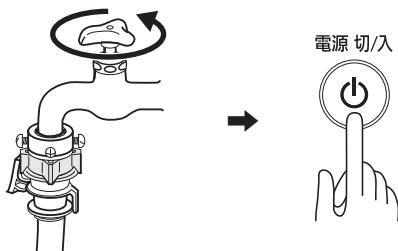
洗濯

おこのみに登録した設定で洗濯する

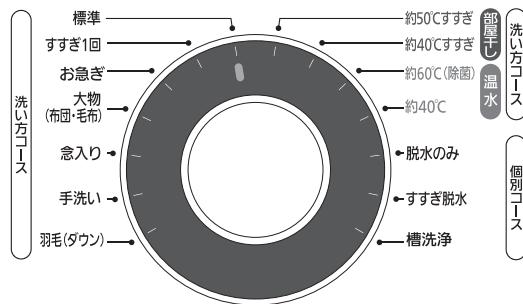
変更したコース設定を登録し、呼び出して洗濯することができます。

■ 設定を登録するには

1 給水栓を開け、電源 切／入ボタンを押して電源を入れる



2 コース選択ダイヤルでコースを選ぶ



3 洗い時間・すすぎ回数・洗い温度・脱水時間の設定を変更する

- 32ページを参照して、行程を設定してください。

4 つけ置き追加・脱水後布ほぐしをする場合は、それぞれのキーを押してランプを点灯させる

- 32ページを参照して、行程を設定してください。

5 おこのみ設定キーを3秒以上長押しする

- 設定が登録されると、おこのみ設定キーのランプが点灯します。

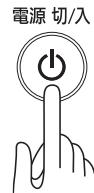


■ 設定を呼び出して洗濯するには

1 洗濯物を確認して、ドラムに入れ、ドアを閉める

- 各コースで洗えるもの、各コースの行程を変更したときに洗えるものを確認してください。

2 給水栓を開け、電源 切／入ボタンを押して電源を入れる



3 おこのみ設定キーを押す

- 登録した設定が呼び出されます。



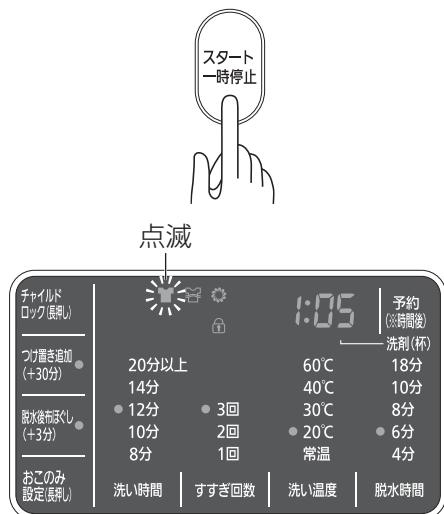
4 洗剤・漂白剤・柔軟剤を入れる

- 洗剤投入ケースを引き出し、表示された洗剤量にもとづいて、洗剤投入部に洗剤を入れてください。
※ 軽い汚れの場合は、洗剤を少なめにしてください。
※ 洗剤は入れすぎないでください。

- コースによっては、スタート／一時停止ボタンを押して、洗濯物の計量をした後に洗剤量が表示されます。そのときは、洗剤量の表示後の一時停止中に、洗剤・漂白剤・柔軟剤を入れてください。

5 スタート／一時停止ボタンを押す

- ドアロックアイコン(⑥)が点灯して、ドアロックがかかります。(ドアロックについては11ページをご覧ください。)
- コースによっては、ドラムが回転して洗濯物を計量し(計量アイコン(⑤)が点滅)、それに合わせた洗剤量が表示され(約45秒後)、一時停止します(約20秒間)。一時停止中に、洗剤・漂白剤・柔軟剤を入れてください。
- 給水が始まってしまったときは、**スタート／一時停止ボタン**を押して一時停止にしてください。洗剤・漂白剤・柔軟剤の投入後、再度**スタート／一時停止ボタン**を押すと洗濯が始まります。
- 計量行程のないコースは、決まった水量が給水され、洗濯が始まります。
- 洗濯がスタートすると、残り時間の目安が表示されます。



- 洗濯が進むにつれ、それぞれの行程で**洗い時間アイコン**(洗濯物)・**すすぎ回数アイコン**(すすぎ)・**脱水時間アイコン**(脱水)が点滅し、終了した行程は消灯します。
- 洗濯のスタート後でも、**洗い時間**、**すすぎ回数**、**洗い温度**、**脱水時間**の設定を変更できます。変更するときは、**スタート／一時停止ボタン**を押して洗濯を停止し、設定を変更したら、再度**スタート／一時停止ボタン**を押して洗濯を再開してください。

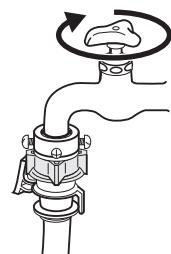
洗い温度を上げるときは
洗い時間を20分以上に設定してください。他の設定では水温が十分に上がりません。

6 洗濯が終了したら洗濯物を取り出す

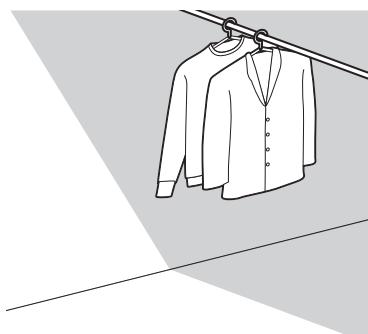
- 洗濯が完了すると、**End**が表示されます。
- ドアロックアイコン(⑥)が消灯してドアロックは解除されます。

消灯		End		予約 (※時間後)
チャイルド ロック(長押し)				洗剤(杯)
つぼ書き追加 (+30分)		20分以上	60℃	18分
		14分	40℃	10分
脱水後おまけ (+3分)		12分	3回	8分
		10分	2回	20℃ 6分
おこのみ 設定(長押し)		8分	1回	常温 4分
		洗い時間	すすぎ回数	洗い温度
				脱水時間

- 給水栓を閉じてください。



- 洗濯物はしわにならないように、早めに広げ、適切な方法で乾かしてください。



洗濯

タイマー予約洗濯

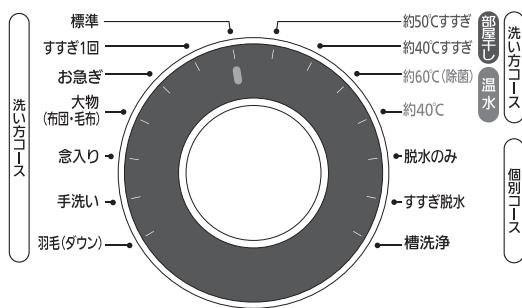
洗濯の終了時間を予約して洗濯することができます。

※ お急ぎコース、脱水のみコース、すすぎ脱水コースは、
タイマー予約できません。

1 洗濯物をドラムに入れて、ドアを閉める

2 給水栓を開け、電源 切／入ボタンを押して 電源を入れる

3 コース選択ダイヤルでコースを選ぶ



4 必要に応じて、洗い時間・すすぎ回数・洗い 温度・脱水時間の設定を変更、つけ置き追加・ 脱水後布ほぐしを追加する

- 32ページを参照して、行程を設定してください。
- ※ 変更する必要がない場合は、次に進んでください。

5 予約キーで洗濯終了までの時間を設定する

- 予約キーを押すたびに、洗濯終了時間の表示が3:00(3時間後終了)～19:00(19時間後終了)に変わります。
- 予約アイコン(⊕)が点灯します。



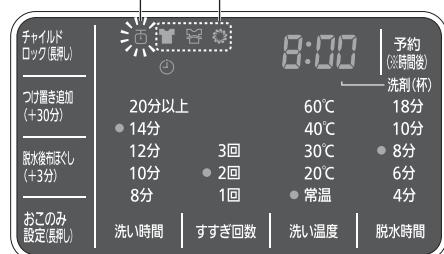
※ コース選択ダイヤルでコースを選ばないで(ダイヤルのコースランプがすべて点灯)、予約キーで時間設定すると、スタート／一時停止ボタンを押したときに予約はキャンセルされて、標準コースの洗濯を始めます。

6 スタート／一時停止ボタンを押す

- ドアロックアイコン(🔒)が点灯して、ドアロックがかかります。(ドアロックについては11ページをご覧ください。)
- ドラムが回転して洗濯物を計量し(計量アイコン(⌚)が点滅)、それに合わせた洗剤量が表示された後(約20秒間)、終了時間の表示に戻ります。表示された洗剤量に合わせて、洗剤・漂白剤・柔軟剤を入れてください。
- 終了までの時間の目安が表示されます。
- 手洗いコース・ダウソ(羽毛)コースは、洗濯物の計量はせず、洗剤の量は表示されません。



点滅 点灯



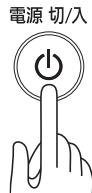
7 洗濯物・洗剤・漂白剤・柔軟剤を入れる

- 洗剤投入ケースを引き出し、表示された洗剤量にもとづいて、洗剤投入部に洗剤・漂白剤・柔軟剤を入れてください。
- 羽毛(ダウソ)コースは、洗剤のパッケージなどの表記を参考に、標準水量(→P51、28L)に合わせた量を投入してください。
- 手洗いコースでは、39ページの表を参考にして、標準水量(→P51、28L)に合わせた量(目安として計量カップ約0.6杯)を投入してください。
- それぞれのコースに合わせた洗剤を使用してください。

※ 軽い汚れの場合は、洗剤を少なめにしてください。
※ 洗剤は入れすぎないでください。

予約を取り消すには

- 電源 切／入ボタンを押して、電源を切にしてください。



予約を変更するには

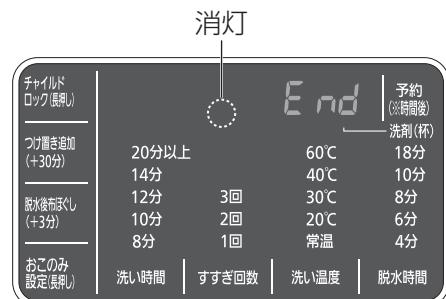
- 電源を切って、再度入れ直し、設定し直してください。

洗濯開始時間になると

- 予約した時間に終わるように、開始時間になると洗濯が開始されます。

洗濯が完了すると

- 洗濯が完了すると、Endが表示されます。
- ドアロックアイコン(①)が消灯してドアロックは解除されます。



- 給水栓を閉じてください。

- 洗濯物はしわにならないように、早めに広げ、適切な方法で乾かしてください。

※ 予約時間と実際の終了時間は、給水や排水などの条件により多少異なります。

特に、温水コース・部屋干しコースでは、給水される水道水の温度により、終了時間が大きく異なることがあります。

洗剤量の目安

- 洗剤・漂白剤・などは、洗剤のパッケージなどの表記を参考に、以下の表を目安に投入してください。

洗剤量の表示	衣類の量の目安	洗剤・柔軟剤のタイプ	合成洗剤						酸素系液体漂白剤		柔軟剤			
			粉末		液体			液体中性	濃縮	普通	濃縮		普通	
			水30Lあたりの必要量	20g/30L	25g/30L	10mL/30L	20mL/30L	25mL/30L	40mL/30L	20mL/30L	40mL/30L	4mL/30L	7mL/30L	10mL/30L
1.0杯	~7.5kg	洗剤・柔軟剤量の目安	43g	54g	22mL	43mL	54mL	40mL	23mL	46mL	11mL	18mL	27mL	54mL
0.9杯	~6kg		40g	50g	20mL	40mL	50mL	37mL	20mL	40mL	10mL	17mL	25mL	50mL
0.8杯	~4kg		37g	46g	19mL	37mL	46mL	30mL	18mL	36mL	9mL	15mL	22mL	44mL
0.6杯	~2kg		28g	35g	14mL	28mL	35mL	25mL	15mL	30mL	8mL	13mL	19mL	38mL
0.4杯	~1kg		18g	23g	9mL	18mL	23mL	21mL	10mL	20mL	5mL	8mL	12mL	23mL

※ すすぎ1回コース、お急ぎコースでは、すすぎ1回用洗剤を使用してください。

※ 大物（布団・毛布）コースでは、液体洗剤を使用してください。

※ 手洗いコースでは、液体中性洗剤を使用してください。手洗いコースでは、漂白剤は使用しないでください。

※ 羽毛（ダウソ）コースでは、ダウソ専用洗剤を使用してください。羽毛（ダウソ）コースでは、漂白剤、柔軟剤は使用しないでください。

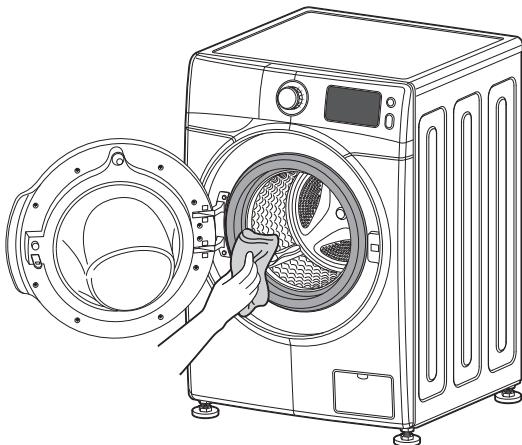
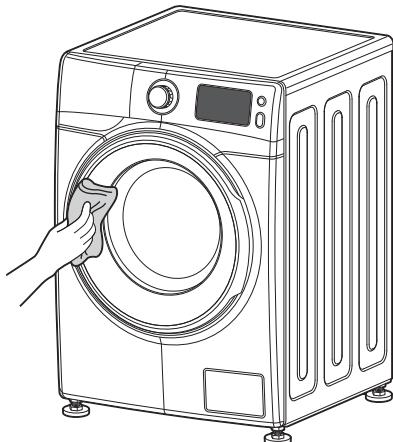
お手入れ

- シンナー、アルコール、ベンジン、アルカリ性・酸性の強い洗剤、漂白剤などは使用しないでください。

■本体外側・ドア内側・ドアパッキン

洗剤が付いたり、汚れているときはお手入れしてください。

水またはぬるま湯（40℃以下）を含ませたやわらかい布をよく絞って、汚れを拭き取る



※パッキンのひだの奥も、ていねいに拭いてください。

■糸くずフィルター

糸くずなどがたまると、排水性能が低下します。定期的にお手入れしてください。



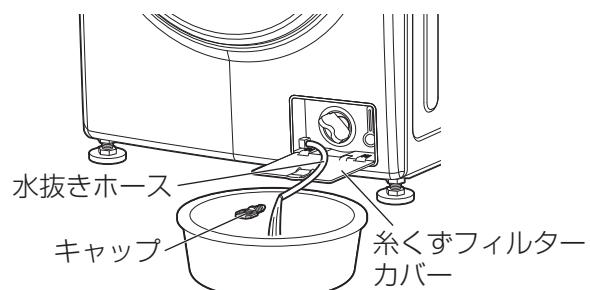
- 洗濯中など、ドラム内に水があるときは、絶対に開けないでください。
水もれして、周囲の汚損の原因になります。
開ける必要があるときは、水抜きホースを使用して、本体内の水を抜いてください。

1 電源を入れ、脱水のみコースで運転して、ドラム内の水を排水する

- ・時間を短縮するため、コース選択ダイヤルで脱水のみを選んだ後、脱水時間を脱水なし（脱水時間のランプがすべて消灯）にしてください。

2 糸くずフィルターカバーを開け、水抜きホースで排水する

- ・水抜きホースを取り出し、キャップを外してバケツなどに排水してください。

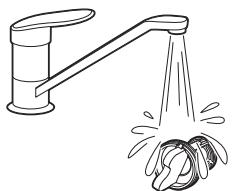


3 糸くずフィルターを取り出す

- ・左に回して取り外してください。
※糸くずフィルターを取り外すときは、本体内に残っている水がもれできます。ぞうきんなどで水を受けてください。

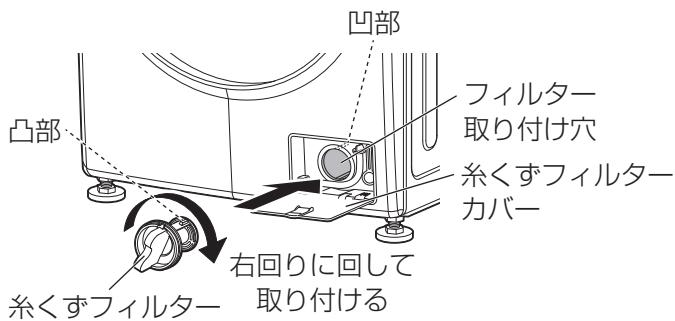


4 糸くずを取り除き、水洗いする



5 糸くずフィルターを取り付ける

- 糸くずフィルターの凸部を、フィルター取り付け穴の凹部に合わせて差し込み、右に回して取り付けてください。
- 水抜きパイプは、キャップを取り付けて、元に戻してください。
- 糸くずフィルターカバーを閉めてください。

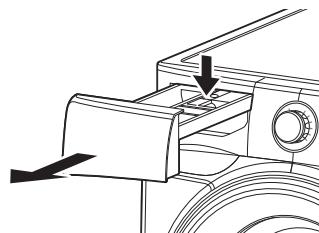


- 糸くずフィルターは、凸部をフィルター取り付け穴の凹部に合わせて差し込み、最後まで（カチッと当たって回らなくなるまで）回してください。
糸くずフィルターがしっかりと取り付けられてないと、水もれして、周囲の汚損の原因になります。

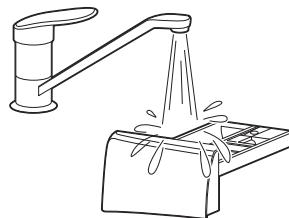
■洗剤投入ケース

洗剤や柔軟剤がこびり付くことがあります。汚れているときは、取り外して洗ってください。

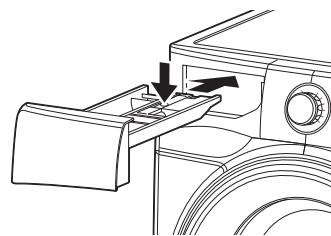
1 柔軟剤投入部の上側のストッパーを押しながら、手前に引いて外す



2 水洗いする



3 取り付けるときは、ストッパーを押しながら、洗剤投入ケースを差し込む



■ ドラム (槽洗浄)

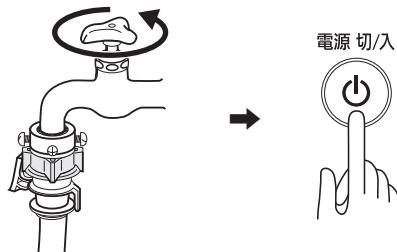
- 塩素系漂白剤は、酸性のものや他の液体と絶対に混ぜないでください。
- 塩素系漂白剤が壁や本体外側に付いたときは、速やかに拭き取り、しばらくの間、換気扇を回してください。
- 漂白剤やクリーナーの液が、手や体に付いたときは、速やかに水で洗い流してください。
- 漂白剤やクリーナーの液は、絶対に目に入れないでください。万が一目に入ったときは、すぐに流水で洗い、医師に相談してください。
- 塩素系漂白剤を取り扱うとき、洗浄後に糸くずフィルターなどを掃除するときは、必ずゴム手袋をしてください。

洗濯機内部がかび臭いときや、汚れが目立つとき、洗濯物に洗剤かすが付着するようなときは、**槽洗浄**を行ってください。

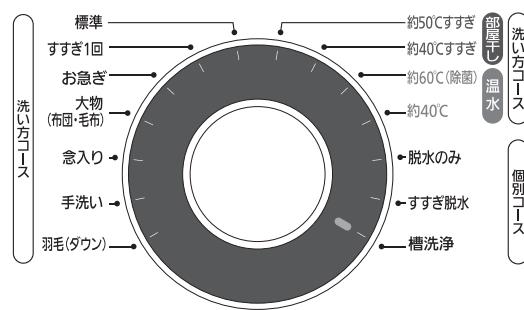
槽洗浄用クリーナーについて

- ・槽洗浄には市販の塩素系漂白剤（または槽洗浄用クリーナー）を使用してください。
 - ・塩素系漂白剤（槽洗浄用クリーナー）の分量については、塩素系漂白剤（槽洗浄用クリーナー）の表示にしたがってください。
塩素系漂白剤は、表示がない場合は、約300mLを使用してください。

1 給水栓を開け、電源 切／入ボタンを押して電源を入れる



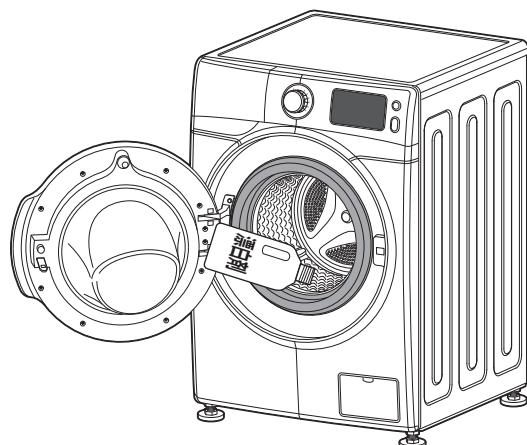
2 コース選択ダイヤルで槽洗浄を選ぶ



コース	初期設定				
	計量	洗い時間	すぎ回数	洗い温度	脱水時間
槽洗浄	しない	20分以上	2回	60℃	8分

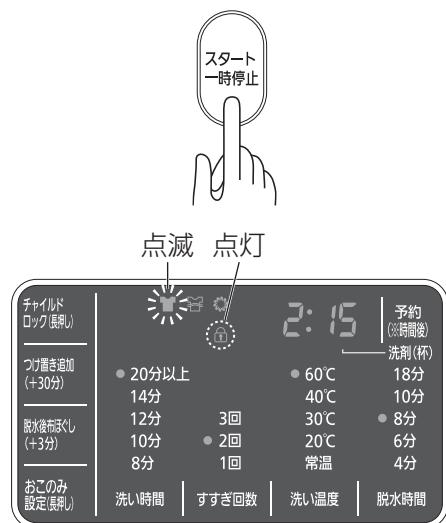
※ コース選択ダイヤルでコースを選ばないでスタート／一時停止ボタンを押すと、標準コースで洗濯を始めます。

3 ドラム内に直接槽洗浄用クリーナーを投入し、ドアを閉める



4 スタート/一時停止ボタンを押す

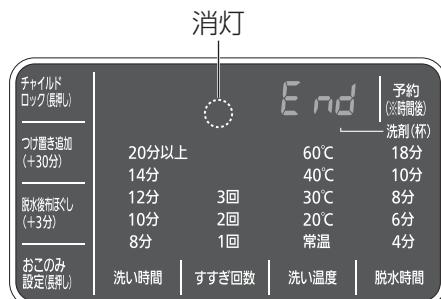
- ドアロックアイコン(⑤)が点灯して、ドアロックがかかります。(ドアロックについては11ページをご覧ください。)
- 決まった水量が給水され、槽洗浄が始まります。
- 槽洗浄がスタートすると、残り時間の目安が表示されます。



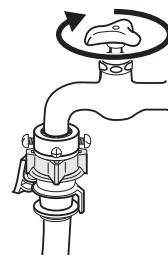
- 給水された水は60°Cに温められます。

5 槽洗浄が終了したら、水抜きホースで本体内の水を排水する

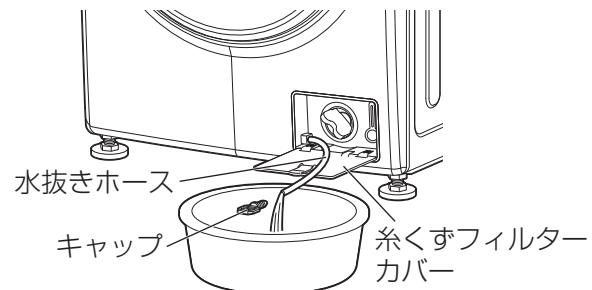
- 脱水が停止して槽洗浄が完了すると、Endが表示されます。
- ドアロックアイコン(⑤)が消灯してドアロックは解除されます。



- 給水栓を閉じてください。



- 糸くずフィルターをカバーを開けて水抜きホースを取り出し、キャップを外してバケツなどに排水してください。



6 糸くずフィルターを取り出し、掃除する



※糸くずフィルターを取り外すときは、本体内に残っている水がもれてきます。ぞうきんなどで水を受けてください。

- 洗った後は、再度糸くずフィルターを取り付けてください。



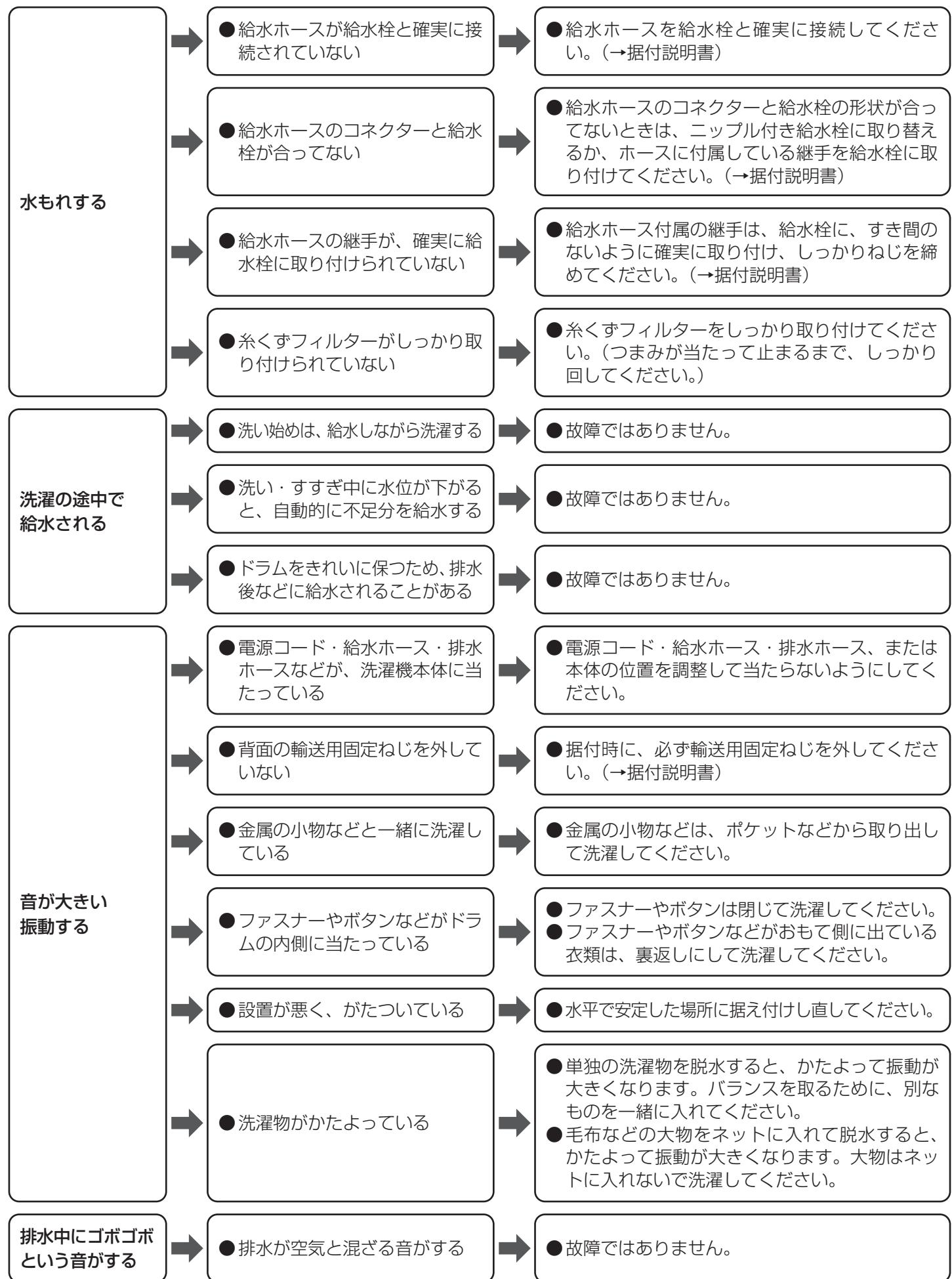
●糸くずフィルターは、凸部をフィルター取り付け穴の凹部に合わせて差し込み、最後まで（カチッと当たって回らなくなるまで）回してください。

糸くずフィルターがしっかりと取り付けられてないと、水もれして、周囲の汚損の原因になります。

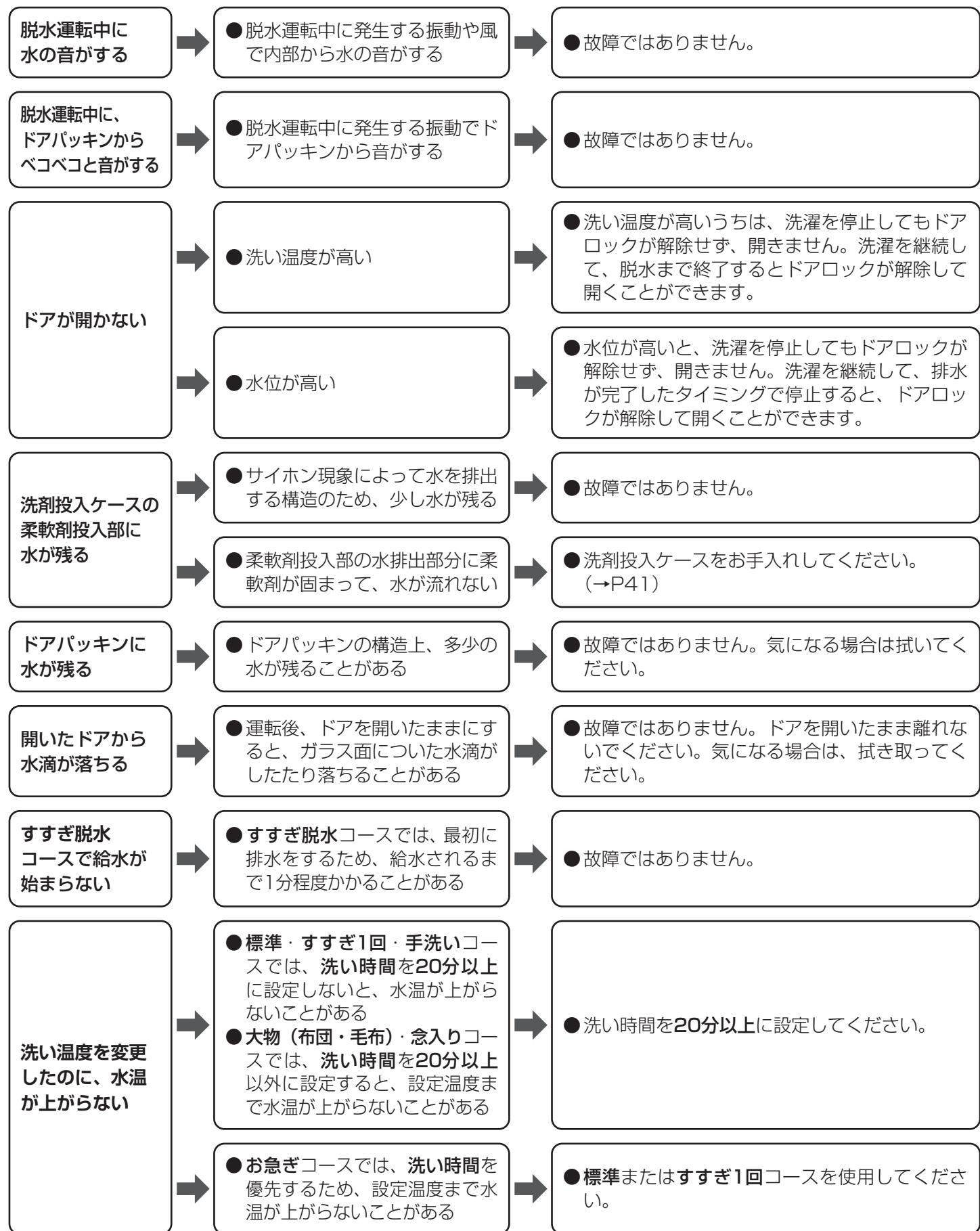
故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状 態	原 因	処 置
電源が入らない	●電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない	●電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
洗濯が始まらない	●電源が入っていない	●電源切／入ボタンを押して電源を入れてください。
	●スタート／一時停止ボタンを押していない	●スタート／一時停止ボタンを押すと、洗濯が始まります。
	●スタート／一時停止ボタンを2度押した	●洗濯が始まった後にスタート／一時停止ボタンを押すと、一時停止になります。もう一度スタート／一時停止ボタンを押してください。
	●タイマー予約になっている	●すぐに洗濯する場合は、一旦電源を切り、再度入れ直して、洗濯してください。
	●給水栓が閉まっている ●給水水圧が低い	●給水栓の接続を確認して、給水栓を開いてください。 ※ エラー表示ができるまでに時間がかかることがあります。
脱水がすぐに始まらない	●脱水のみコースでは、最初にドラムが少しずつ回転して、衣類をほぐす	●ほぐしの行程の後、回転が上がり脱水になります。
予約が設定できない	●お急ぎ・脱水のみ・すすぎ脱水コースになっている	●お急ぎ・脱水のみ・すすぎ脱水コースでは予約はできません。
予約時間を設定したのに、すぐに洗濯が始まった	●予約時間を設定する前に、コースを選んでいない	●予約時間を設定する前に、必ずコース選択ダイヤルでコースを選んでください。コースを選ばないでスタート／一時停止ボタンを押すと、標準コースで洗濯が始まってしまいます。
洗濯が途中で止まる	●つけ置きの行程が設定されている	●つけ置きの行程中は、ドラムが少しずつ回転しながら、つけ置き洗いします。
操作が受け付けられない	●チャイルドロックがかかっている	●チャイルドロックがかかっている間は、電源の切／入と、チャイルドロックの解除以外の操作を受け受けません。操作する場合は、チャイルドロックを解除してください。 (→P11)
ドラム内に水が残っている	●出荷時の性能テスト時の水が残っていた	●故障ではありません。水を拭き取って、使用してください。
水量が少ない	●ドラム式は少ない量で洗濯する	●故障ではありません。



故障かな？と思ったら つづき



それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

●自分で分解・修理・改造しないでください。

洗濯がうまくいかないときは

洗濯がうまくいかないと感じた場合は、以下の点を確認してください。

状態	原因	処置
汚れが落ちにくい	●洗濯物を入れすぎている	●洗濯物の量を適正に減らしてください。
	●洗剤を入れていない	●洗剤は、洗濯が始まる前に、洗剤投入ケースの洗剤投入部に入れてください。
	●洗剤が少ない	●洗濯用洗剤は、洗剤のパッケージの表記をもとに、洗剤量の表示を目安にして、適正な量を入れてください。
	●洗濯物の汚れが激しい	●汚れの激しい洗濯物は、以下のようにして洗濯してください。 ・念入りコースで洗濯する ・洗い時間キーで長めの時間を選んで洗濯する ・つけ置きキーでつけ置き行程を追加して洗濯する ・温水（約60℃（除菌）・約40℃）コースで洗濯する ・洗い温度を高めに設定して洗濯する
	●落ちにくい汚れが付いている	●泥や食べこぼしなど、落ちにくい汚れは、拭き取るなどの前処理をしてください。
	●色の濃い衣料などは糸くずが目立つ	●市販の糸くず防止洗濯用ネットを使用してください。
洗濯物にしみが付く	●柔軟剤が部分的に付いて、しみになることがある	●柔軟剤は、直接衣類にかけないで、柔軟剤投入部に入れてください。（→P15）
洗濯物に洗剤が残る	●給水温度が低いと洗剤が溶けにくい	●給水水温が低いときは、洗い温度を20℃に設定して洗濯してください。（→P32）
	●粉石けんを使用している	●ドラム式洗濯機では、粉石けんは使用しないでください。
柔軟剤投入部に柔軟剤が残る	●濃い柔軟剤は溶けにくく、投入ケースに残ることがある	●あらかじめ水で薄めて投入してください。
洗濯物が黄ばむ	●断水などの後、鉄さびなどでごった水を使用した	●断水などの後は、水がきれいになるのを待って使用してください。
洗濯物が傷む・毛羽立つ	●デリケートな洗濯物を標準コースなどで洗っている	●デリケートな洗濯物は、ネットに入れる、手洗いコースで洗濯などしてください。 ●毛羽立ちしやすい洗濯物は裏返して洗濯するなどしてください。

洗濯がうまくいかないときは つづき



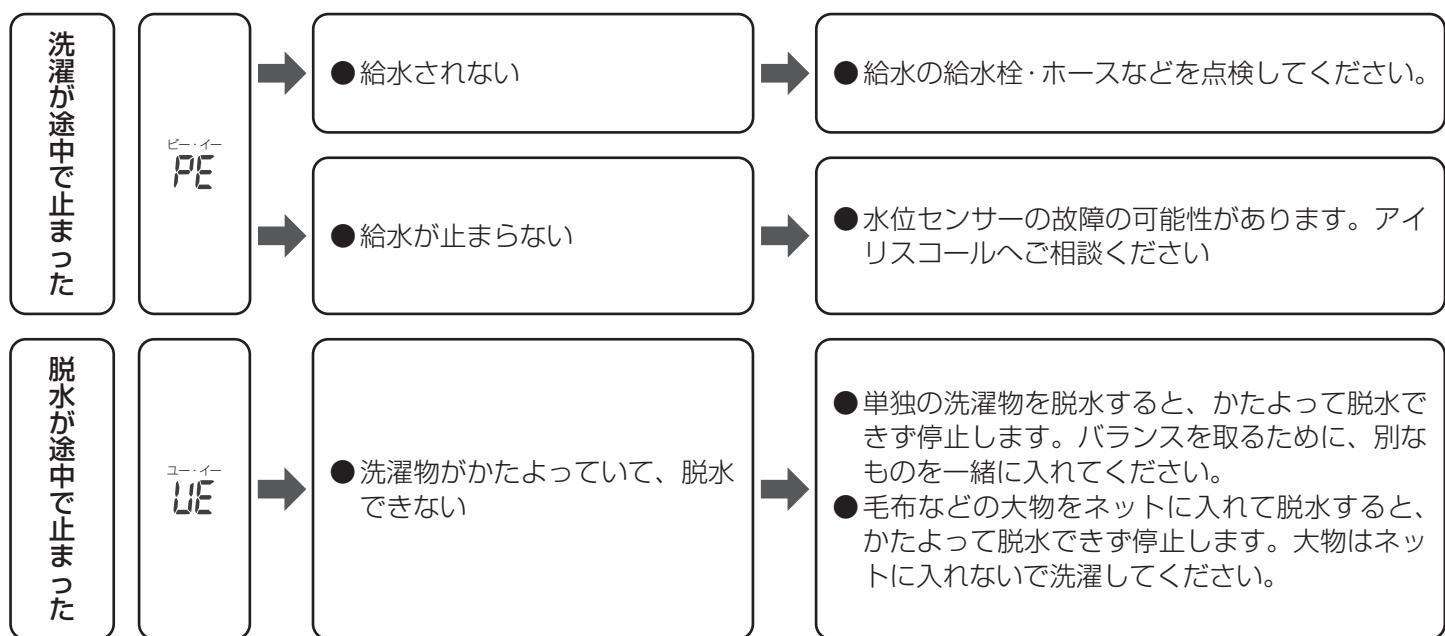
エラーが表示されたときは

次のようなエラーが表示されて停止したときなどは、以下の点を確認してください。

※ アイリスコールへご相談いただく際には、エラー表示について、下記の読みでお伝えください。

状態	表示	原因	処置
洗濯が始まらない	ロク・イー 6E	● 内部回路の故障が発生した	● アイリスコールへご相談ください。
	シ・イー CE	● 電源の故障が発生した	● アイリスコールへご相談ください。
	デー・イー dE	● ドアがきちんと閉まっていない	● スタート／一時停止ボタンを押して一時停止し、ドアを閉めてください。ドアに異物が挟まっていた場合は、取り除いてドアを閉めてください。再度スタート／一時停止ボタンを押すと、スタートします。
	イー・イー EE	● 内部回路の故障が発生した	● アイリスコールへご相談ください。
	アイ・イー iE	● 給水されない ● 給水が足りない	● スタート／一時停止ボタンを押して一時停止し、給水栓を確認してください。給水栓が閉まっている場合は開けてください。給水栓の接続を確認して、確実に接続してください。給水栓から確実に給水されることを確認したら、再度スタート／一時停止ボタンを押してください。
	テー・イー tE	● 水温センサーの故障が発生した ● 水位センサーの故障が発生した	● アイリスコールへご相談ください。
	エフ・イー fE	● 水位センサーが異常を検知した ● 給水弁の故障が発生した	● 給水栓を閉じ、アイリスコールへご相談ください。
	エル・イー lE	● 洗濯物が多すぎてモーターに負荷がかかると、洗濯を停止する	● スタート／一時停止ボタンを押して一時停止し、洗濯物を減らしてドアを閉めてください。再度スタート／一時停止ボタンを押すと、スタートします。
洗濯が途中で止まつた	オー・イー oE	● 排水されない	● 排水ホースがつぶれていないか確認して、直してください。 ● 排水ホースが10cm以上高くなっているか確認して、直してください。 ● 排水ホース・排水口・糸くずフィルターがつまっているか確認して、お手入れしてください。 (→P40～41、「糸くずフィルター」の2～5の手順でお手入れしてください。)

エラーが表示されたときは つづき



長期使用製品について

設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火・けがなどの事故に至る原因になります。

使用中に以下のような症状が見られた場合は、

- 電源ボタンを押しても何も反応しない
- 洗濯中に異常な音がする
- 電源コードが折れ曲がったり、破損している
- 電源コードに触れると電源が切れたり入ったりする
- 焦げたようなにおいがする



使用中止

すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。

※ この製品の設計上の標準使用期間は、製品本体に表示されています。

■ 設計上の標準使用期間

JIS基準に基づく標準的な使用条件下で使用した場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間のことです。無料修理を行う保証期間とは異なります。

標準的な使用条件 (JIS基準に基づく)

環境条件	電圧	AC100V
	周波数	50 / 60Hz
	温度	20°C
	湿度	65%
負荷条件	負荷	標準容量
	コース	標準コース
	給水圧	0.03 ~ 0.8MPa
	給湯・給水温度	20±15°C
想定時間	1日の平均使用回数	1.5回
	1回の使用時間	標準コースの時間
	1年間の使用日数	365日
	1年間の使用回数	1.5回×365日=547.5回/年



製品の劣化や故障は様々な要因に影響されます。上記の標準的な使用期間に満たない場合でも、異常が見られたときには、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。

仕様

種類	ドラム式電気洗濯機
定格電圧	AC100V
定格電源周波数	50／60Hz
定格入力	1,000W
電動機消費電力	200W
湯沸かし用電熱装置消費電力	800W
標準洗濯容量	7.5kg
標準脱水容量	7.5kg
標準使用水量	72L
標準水量	28L
防水レベル	IPX4
外形寸法	幅595×奥行672×高さ860mm
質量	66kg

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

除菌の効果について

- 試験機関名：(一財)日本食品分析センター
- 試験方法：菌液付着試験布の生菌数測定
- 除菌の方法：温水約60°C(除菌)コースにて洗浄

- 除菌の対象：洗濯物
- 試験結果：菌の減少率99%以上(自社換算値)

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。

保証書がありませんと、無料修理保証期間内でも代金を請求される場合がありますので、大切に保管してください。

■保証期間

保証期間は、保証書に記載されています。
保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品及び修理に関するお問い合わせは
アイリスコール (通話料無料) **0800-919-0770**

受付時間 平日 9:00~17:00、土・日・祝日 9:00~12:00／13:00~17:00
(年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAXでのお問い合わせは(通信料無料) **0800-888-2600**

Webからのお問い合わせは <https://www.irisohyama.co.jp/support/>
メールフォームにご記入のうえ送信してください



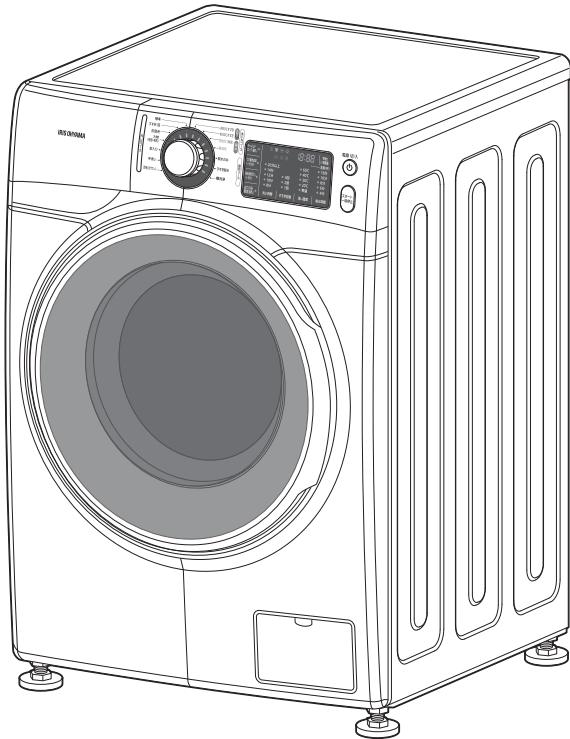
IRIS OHYAMA

室内・家庭用

ドラム式洗濯機

HD71

据付説明書



据え付けされる方へ

- 据え付け前に、「安全上の注意」をよく読んで、正しく据え付けてください。
- 製品の機能が十分発揮されるように、この据付説明書にしたがって正しく据え付けてください。
- 据え付け終了後、必ず「チェックシート」にしたがって確認をしてください。
- 据え付け終了後、必ず試運転を行ってください。
- 異常のないことを確認した後、この据付説明書はお客様にお渡しください。

もくじ

本体運搬時の注意	1
安全上の注意	2
付属品の確認	4
別売部品	4
据え付け関連部品	5
据え付け前の確認	6
据え付け	8
据え付け後の移動	13
試運転	15
チェックシート	裏表紙

お客様へ

- この据付説明書は、取扱説明書とともに大切に保管してください。

本体運搬時の注意

- 本体を引きずって移動しないでください。
床を傷つけたり、脚が破損したり、振動・異音が発生したりします。
- 必ず、2人以上で作業してください。
- 必ず、すべり止め付きの安全手袋を使用してください。
1人は背面上方を、もう1人は前方の脚を持ってください。



安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う
おそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。
- 電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使う
火災の原因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。



- 電源コードをたばねて通電しない
過熱してやけど・火災の原因になります。
電源コードは、必ずのばして使用してください。

- 洗濯機を電源プラグに押しつけない
据え付け時は、洗濯機で電源プラグを押しつけないように注意してください。



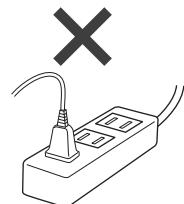
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、絶対に自分で修理せず、アイリスコールへお問い合わせください。

- 電源コードを傷つけない
- 電源コードを引っ張らない

傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重い物を載せる、挟み込むなどしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

- 延長コードは使用しない

過熱してやけど・火災の原因になります。



据え付けについて



水ぬれ禁止

- 水まわり、浴室など湿気のある場所には絶対に据え付けない
- ベランダ・庭など風雨にさらされる場所に据え付けない
火災・感電の原因になります。



アースを
必ず接続

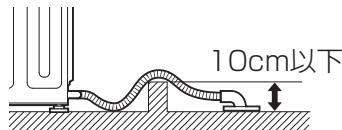
- アースを必ず取り付ける
感電・やけど・けがの原因になります。
- アース線は、ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しない
爆発・火災の原因になります。

⚠ 注意

誤った取り扱いをすると、人掛けがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



- 排水ホースは高さ10cm以下にする
据え付け後や移設後は、給水栓を開いて、水もれがないか確認する
水もれがあるときは、もう一度各接続部を点検してください。



- 排水ホースをたるませない
- 排水ホースはねじらない
排水ができなかつたり、逆流したりすることがあります。
また、本体内部で他の部品と接触すると、ホースが破れるおそれがあります。



- 給水ホースと本体の給水栓は確実に接続する
- 洗濯前は、給水栓を開けて、給水ホースの接続を確認する
給水栓のナットなどがゆるんでないか確認してください。ホースが外れると、水もれや事故の原因になります。
- 据え付けるとき・移設するときは、必ず新品の給水ホースを使用する
古くなった給水ホースは、水もれなどのおそれがあります。給水ホースについては、アイリスコールへご連絡ください。

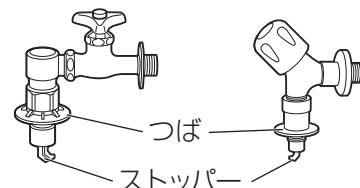


- 給湯器に接続しない
プラスチック部分が変形・破損し、感電や漏電、水もれの原因になります。

給水ホースについて



- ニップル付き給水栓に接続する場合は、付属の給水ホースから継手を外して、給水栓に接続する



- ニップル付き給水栓でない場合は、市販の洗濯機用ニップルを取り付けるか、付属の給水ホースの継手を取り付けて接続する（取り付けかた→P11）
付属の継手は、水もれがないように、確実に取り付けてください。給水ホースとサイズなどが合わない場合は取り付けないでください。

据え付けについて



- キャスター付きの台など不安定な場所に据え付けない
- 高いところに据え付けない
脱水時の振動で、転倒・落下・移動し、けがや周囲の家財の破損の原因になります。
- カーペットなど、底面の通気をさまたげる場所に据え付けない
火災の原因になります。

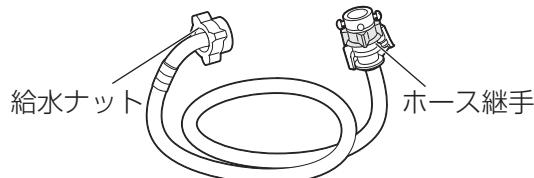


- 確実に排水できる場所に据え付ける
水もれにより、周囲の家財の汚損や、火災・感電の原因になります。

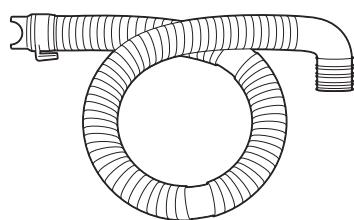
付属品の確認

最初に、付属品がそろっていることを確認してください。
万一足りないものがある場合は、アイリスコールへご連絡ください。

給水ホース



排水ホース



スパナ（輸送用ねじ・調節脚用）



ホースクリップ

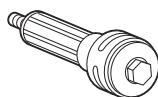


別売部品

部品名	品番	形状	備考
	SENP6565 希望小売価格： 13,000円（税別）		<ul style="list-style-type: none"> サイズ：640×640×60mm 排水トラップは、ヨコ引き・タテ引きの2種あり
洗濯機用防水パン		<p>平面図</p> <p>断面図</p>	
真下排水パイプ セット	MHP-1		<ul style="list-style-type: none"> 真下排水パイプとかさ上げ台×4のセット 防水パンがなく、真下排水でエルボがないときに使用
かさ上げ台	MHP-2		<ul style="list-style-type: none"> かさ上げ台×4 防水パンがなく、真下排水でエルボがあるときに使用 防水パンがなく、調節脚のゴムの色移りを防ぐときに使用

※ 価格は2019年5月現在のもので、予告なく変更する場合があります。

輸送用固定ねじ×4
(出荷時は本体に取り付け
られています。)



接続口キャップ
(出荷時は本体に取り付け
られています。)



輸送用ねじ穴キャップ×4



輸送用ねじ穴キャップを取り外す
ときは、キャップのスリットにマ
イナスドライバーを差し込み、固
定つめを外してください。



据え付け関連部品

その他、据え付けに必要な部品を用意する場合は、以下の三栄水栓製作所のものを推奨します。(当社確認済み)

部品名	品番	形状	備考
洗濯機用 L型ニップル	PY124-41TVX-16		<ul style="list-style-type: none"> 万一ホースが外れた場合、瞬時に給水を自動停止 曲げ角度90° 材質：青銅
洗濯機用 ニップル	PT3320		<ul style="list-style-type: none"> 万一ホースが外れた場合、瞬時に給水を自動停止 カップリング水栓用 材質：黄銅
ミニセラ 洗濯機用水栓	PY1735TV-13		<ul style="list-style-type: none"> 配管が洗濯機より低い場合に使用します。 オートストッパー付き
全自動洗濯機 給水延長ホース	PT17-2-1		<ul style="list-style-type: none"> 全自動洗濯機用ホースの延長用 長さ：1m 材質：塩化ビニル樹脂、ポリアセタール
洗濯機 排水ホース	PH64-861T-1.5		<ul style="list-style-type: none"> 洗濯機排水ホースの延長用 長さ：1.5m ホース内径：30mm
洗濯機パン	H541N-640		<ul style="list-style-type: none"> 防水パンが設置されていないとき トラップ穴なし 材質：ABS樹脂

※ 仕様は予告なく変更する場合があります。

据え付け前の確認

1 据え付け場所を確認する

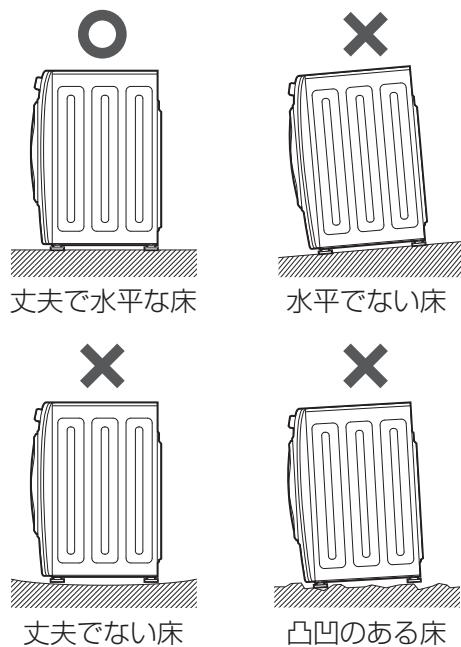


- 水回り、浴室など湿気のある場所には絶対に据え付けないでください。
- ベランダ・庭など風雨にさらされる場所には据え付けないでください。



- キャスター付きの台など、不安定な場所には据え付けないでください。
- 高いところに据え付けないでください。
- 確実に排水できるところに据え付けてください。

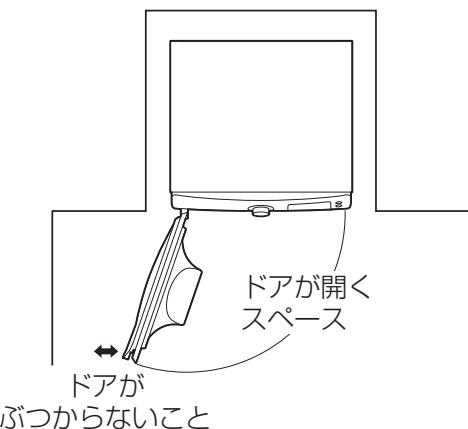
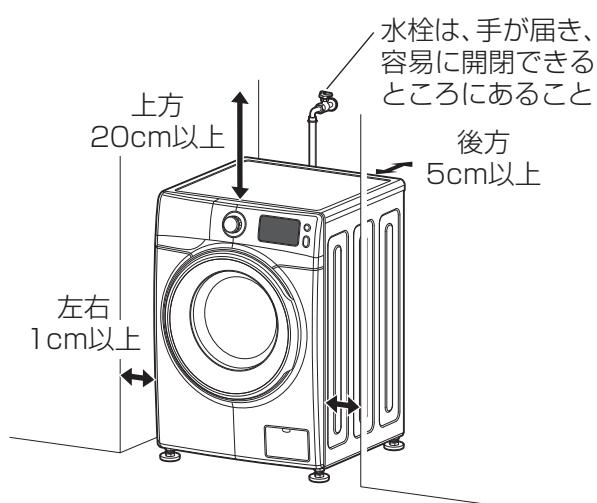
水平でしっかりした場所であることを確認する



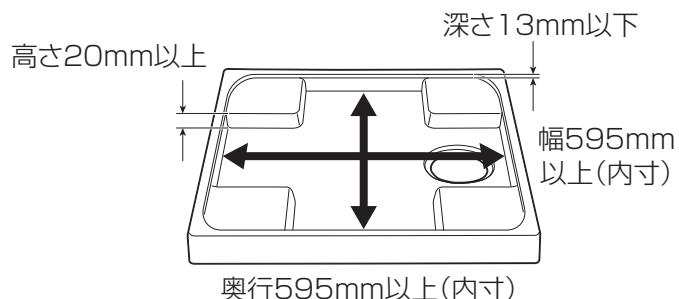
※水平でしっかりした場所でないと、振動による騒音や、壁・床などの破損、転倒事故などの原因になります。

据え付けに必要な寸法を確認する

- ・壁から図に示す距離を空ける必要があります。



防水パンに据え付ける場合、防水パンは図に示す寸法が必要



※防水パンが設置されておらず、床が防水でない場合や、設置されている防水パンの寸法が合わない場合などは、別売の洗濯機用防水パンまたは市販の洗濯機パンを設置してください。(→P4、5) 室温が低いときや湿度が高いとき、冷水を使用して洗濯するときなど、洗濯機の内側が結露して、床がぬれことがあります。

※防水パンが設置されておらず、別売の洗濯機用防水パンや市販の洗濯機パンを使用できない場合は、床に調節脚のゴム部分のあとが残ったり、色移りすることがあるので、別売のかさ上げ台を使用してください。(→P4、9)

※防水パンを使用せず、洗濯機本体の真下に排水する場合は、排水ホースのつぶれ防止のために、別売のかさ上げ台を使用して設置してください。(→P4、10)

2 排水口を確認する

排水口にエルボ・ホースクリップがついているか確認する



※ エルボ・ホースクリップが付いてない場合は、市販のエルボ・ホースクリップを取り付けてください。

※ 排水口が洗濯機の下で、かつエルボが取り付けられない場合、別売の真下排水パイプセットを用意してください。

排水口が洗濯機本体から離れている場合、排水ホースが届くか確認する

届かない場合、市販の延長用排水ホースを使用してください。



防水パンがなく、洗濯機本体の下に排水口がある場合は、別売のかさ上げ台を使用する

かさ上げ台 (別売品)



3 給水栓を確認する

給水ホースが接続できるか確認する

接続できる給水栓



ニップル付き水栓

※ 付属の継手は使用しません。継手を外して、付属の給水ホースを直接接続します。 (→P11)

付属の継手を使用して接続できる給水栓



横水栓

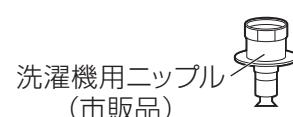
※ 付属の継手を給水ホースから取り外し、給水栓に取り付けて、給水ホースを接続します。 (→P11)

接続できない水栓



自在水栓 万能ホーム水栓 カップリング水栓

※ 自在水栓・万能ホーム水栓など、吐水口が動くものは、水もれのおそれがあります。
カップリング水栓には、付属の継手は取り付けてできません。
市販の洗濯機用ニップルを取り付けて使用してください。 (→P5)



給水ホースが届くか確認する

※ 届かない場合、市販の給水延長ホースを使用してください。



給水圧を確認する

・接続する給水栓の水圧が、以下の範囲になっていいか確認してください。

最大許容水圧 : 0.8MPa

最小許容水圧 : 0.03MPa

4 電源を確認する

電源コンセントにアース端子があるか確認する

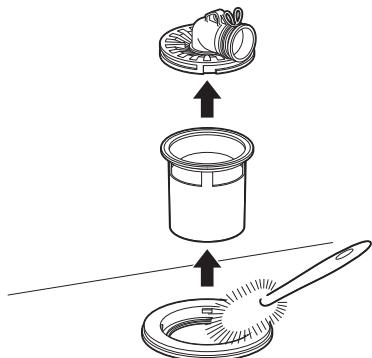
※ ない場合は、電気店にアースの設置工事を依頼してください。

据え付け

1 排水口を掃除する

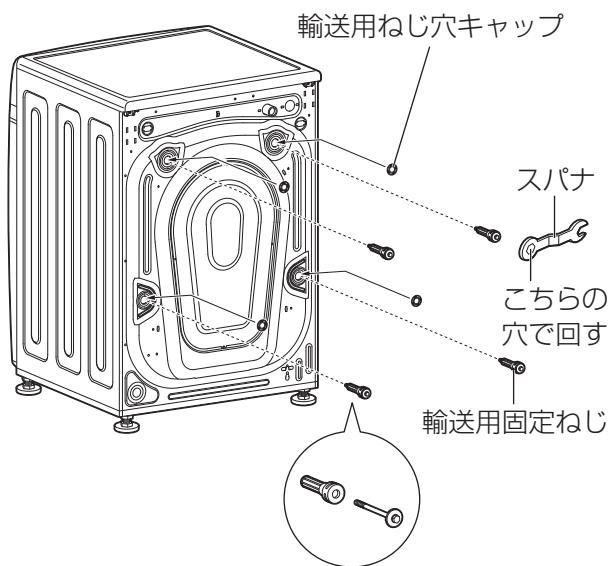
- 排水ホースを取り付ける前に、排水口を取り外して掃除してください。

※ 排水口にごみがたまっていると、水もれや排水不良、においの原因になります。



2 輸送用固定ねじを外す

- 背面の輸送用固定ねじを、付属のスパナで回して外してください。
- 輸送用固定ねじを外した穴は、付属の輸送用ねじ穴キャップをはめ込んでください。

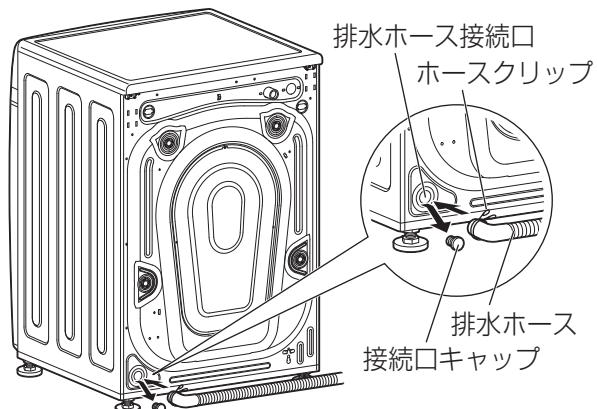


※ 輸送用固定ねじを外さないと、洗濯機の振動や故障の原因になります。

- 据え付け時は、必ず輸送用固定ねじを外してください。
- 移動時は、必ず輸送用固定ねじをつけて締めてください。振動や故障・破損の原因になります。

3 排水ホース接続口から接続口キャップを外し、排水ホースを本体に接続する

- 排水ホースは、本体の排水ホース接続口に、ホースクリップでしっかりと接続されているか確認してください。



- 外した輸送用固定ねじ・接続口キャップ・付属のスパナは、移動・輸送のときに必要になるので、お客様にお渡しして、大切に保管するよう依頼してください。

4 給水ホースを本体に接続する

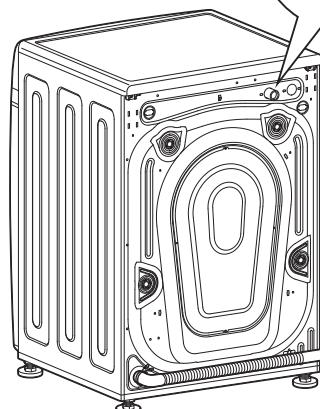
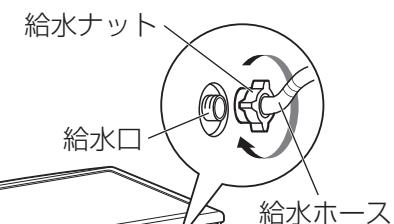


注意

- 給水ホースと本体の接続は、確実に行ってください。

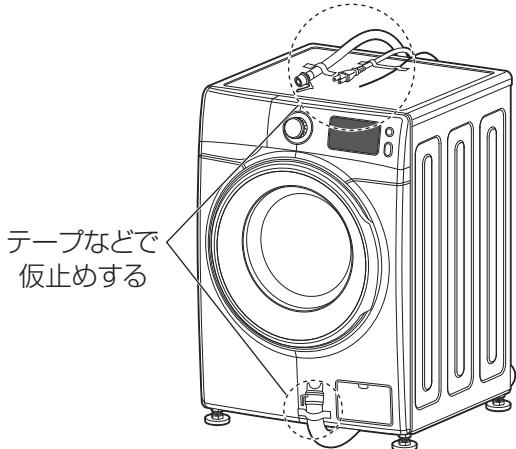
- 給水ホースの先に付いている給水ナットを、本体の給水口にかぶせて、給水ナットを締め込んでください。

※ナットは最後まできっちり締めてください。



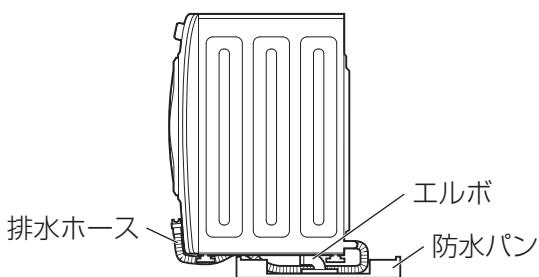
5 洗濯機本体を仮の位置に置き、排水ホースを接続する

- ※ 給水ホース・電源コード・アース線などは、取り出しやすい位置にテープなどで仮止めしておいてください。
- ※ 排水ホースも、排水口が洗濯機の下にある場合は、洗濯機本体の前下側に仮止めしておいてください。

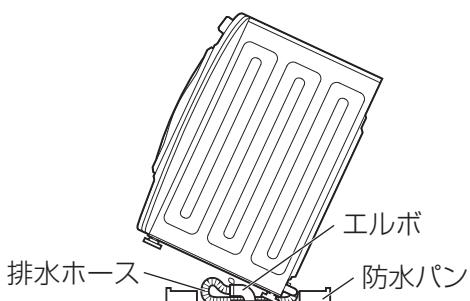


排水口が防水パンの手前側または中央付近にある場合

- ・洗濯機本体を、設置位置より少し前にずらして置いてください。(洗濯機本体を防水パンの前の方に載せます。洗濯機本体の下に余裕があるので、排水ホースはつぶれません。)

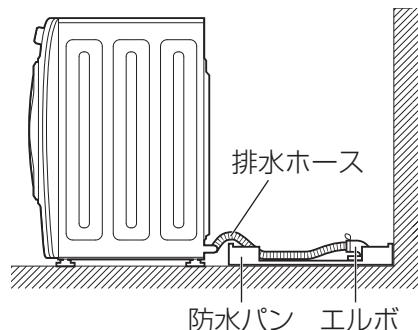


- ・洗濯機本体を、後ろに傾けて、排水ホースを排水口に接続してください。



排水口が防水パンの奥側にある場合

- ・排水口が奥にある場合、洗濯機の後ろに壁があると、洗濯機本体を傾けて排水ホースを接続できません。このような場合は、先に排水ホースを排水口に接続してください。

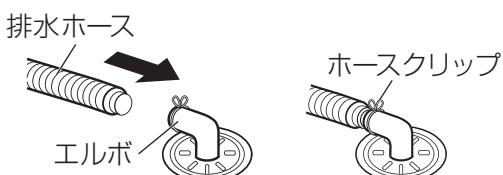


排水口が洗濯機の横にある場合

- ・洗濯機を設置位置に置いて、排水ホースを排水口に接続してください。
- ※ 排水口に手が届きにくいときは、洗濯機本体を邪魔にならない位置に仮置きして、排水ホースを接続してください。
- ※ 防水パンが設置されていない場合は、市販の洗濯機トレーまたは洗濯機パンを設置してください。設置できない場合は、調節脚のゴム部分のあとが残ったり、色移りがあるので、別売のかさ上げ台を使用してください。

排水ホースの接続のしかた

- ・排水口に付いているエルボに排水ホースを差し込み、ホースクリップで固定してください。
- ※ 排水口にエルボが付いていない場合は、市販の排水トラップエルボを取り付けてください。
- ※ 排水ホースのエルボへの差し込みがゆるいときは、エルボを交換してください。

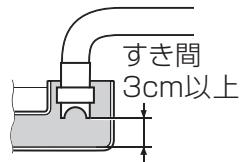


- 転倒・落下による事故に十分注意してください。
- 必ず、二人以上で作業してください。

据え付け つづき

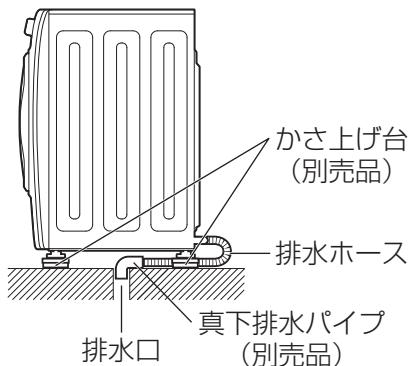
エルボが付けられない場合

- 排水口にエルボが付けられない場合は、排水ホースを直接排水口に差し込んでください。
- ※ 洗濯中に排水ホースが抜けたりしないように、しっかり差し込んでください。
- ※ ホースの先端と排水口の底の間に、3cm以上のすき間を設けてください。

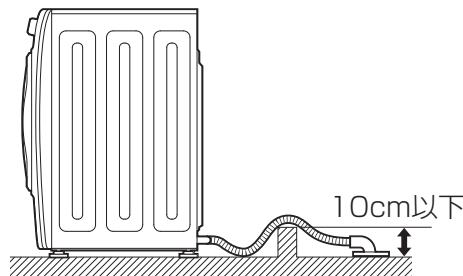


排水口が本体の下にあって、かつエルボが付いていない場合

- 真下排水パイプセット（別売品）を使用します。かさ上げ台を使用したうえで、真下排水パイプを排水ホースに接続して、排水口に差し込んでください。

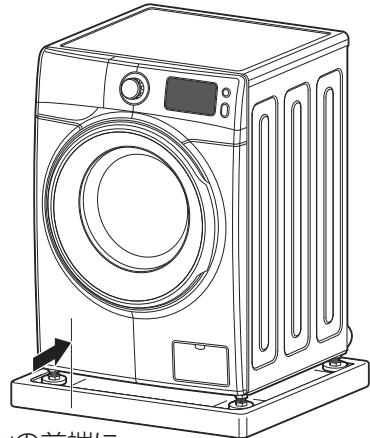


※ 排水ホースが、段差やしきいなどを乗り越える場合は、高さが10cm以上持ち上がるないようにしてください。



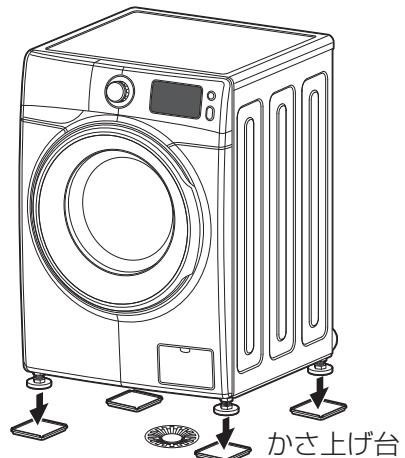
6 洗濯機を設置位置に置く

- 排水ホースがつぶれないように、洗濯機本体を設置位置に置いてください。
- 防水パンに据え付けるときは、洗濯機の前端を防水パンの外側前端に合わせ、後ろ側を空けてください。



防水パンの前端に
本体の前端を合わせる

- 防水パンがなく、洗濯機本体の下に排水口がある場合は、別売のかさ上げ台（→P4）に載せてください。



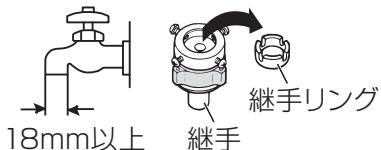
かさ上げ台

7 給水ホースを給水栓に接続する

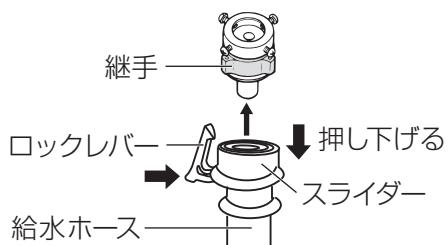
付属の継手の取り付けかた

- 横水栓などに付属の継手を使用して接続する場合は、給水ホースから継手を取り外して、給水栓に取り付けてください。

- ① 給水栓の口の直径が18mm以上のときは、継手リングを外してください。



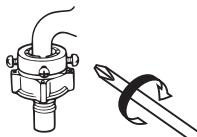
※ 継手を給水ホースから外すには、給水ホースのロックレバーを押してロックを外しながら、スライダーを押し下げて、引っ張ってください。



- ② 継手の4本のねじをゆるめる

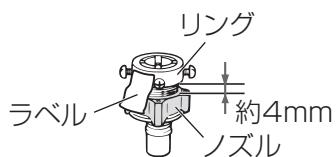


- ③ 給水栓の口の中心と継手のパッキンの中心が合うように、ねじを均等にしっかりと締めてください。



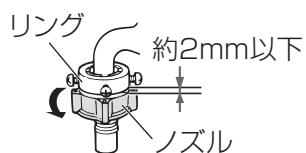
- ④ 継手のリングとノズルの間が約4mmであることを確認して、ラベルをはがす

※ ノズルが回転しないようにラベルが貼り付けてあります。ラベルをはがしてしまった場合は、ノズルを回転させてリングとノズルの間を調節してください。



- ⑤ ノズルを右に回して締める

・ ノズルとリングの間が2mm以下になるように締めてください。



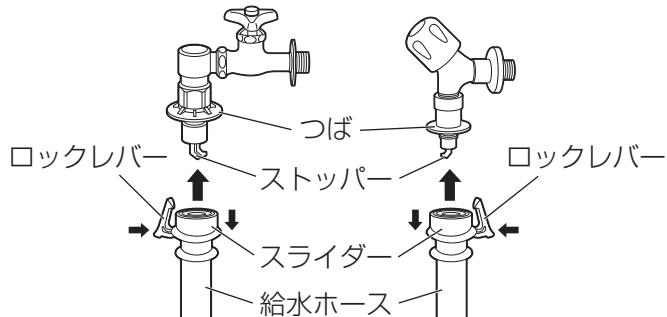
- ・ 使用中に水もれするときは、ノズルをさらに締めてください。

● 付属の継手は、時間が経つとゆるんでくることがあります。水もれがないか、定期的に点検して、増し締めなどを行ってください。

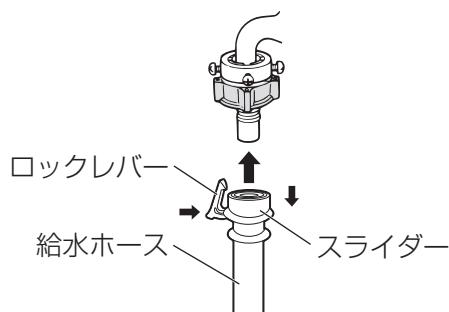
● ひんぱんに水もれしたり、水もれの可能性が大きいときは、ニップル付き給水栓の使用をおすすめします。

接続

- ニップル付き給水栓に接続するときは、付属の継手を取り外し、スライダーを押し下げて、パチンとなるまで給水ホースを押し込み、ロックレバーをつばにかけてください。



- 付属の継手を使用する場合も、スライダーを押し下げて、パチンとなるまで給水ホースを押し込み、ロックレバーをつばにかけてください。



- 給水ホースを引っ張り、抜けないことを確認してください。

- 本体の電源は入れないで、給水栓を開け、水もれがないことを確認してください。

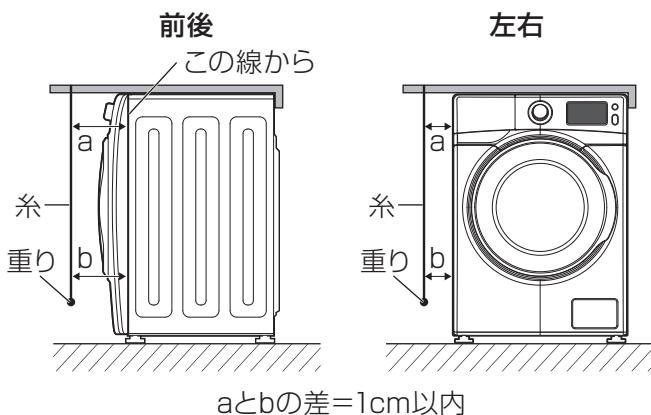
据え付け つづき

8 水平・がたつきの確認をする

水平の確認

- ・水準器がある場合は、本体天面の中央に置き、本体の水平を確認してください。水準器がない場合は、次の方法で水平を確認してください。
- ・正面と側面で、重りを付けた糸を下げ、上側と下側ですきまに1cm以上の差が出ていないか確認してください。

※水平が取れてないときは、「脚の調節のしかた」を参照して、左右前方の調節脚の高さを調節してください。



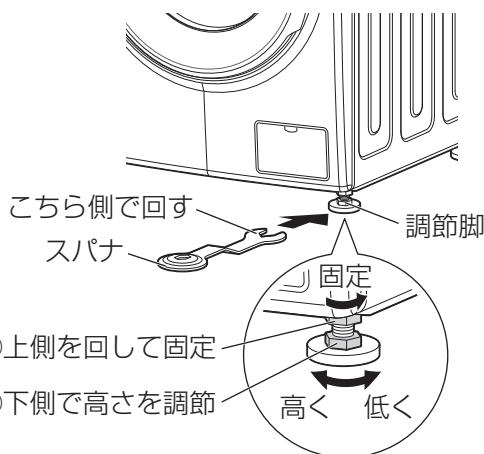
がたつきの確認

- ・本体の角を対角線方向に押して、がたつきがないことを確認してください。

※がたつきのあるときは、「脚の調節のしかた」を参照して、左右前方の調節脚の高さを調節してください。

脚の調節のしかた

- 付属のスパナで、左右前方の調節脚の下側のナットを回して高さを調節してください。
- 高さが決まったら、調節脚の上側のナットを回して固定してください。

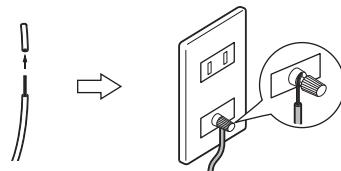


- ・脚の高さ調節後、再度水平とがたつきを確認し、調節が不十分な場合は、再度脚の高さを調節してください。

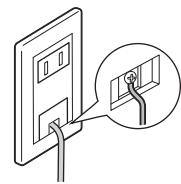
9 アースを接続する

アース端子付きコンセントがある場合

- ・アース線先端の絶縁被覆を抜き取り、芯線部分をアース端子に差し込んで固定します。

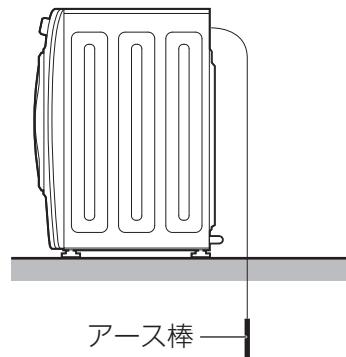


- ・ふた付きの場合はふたを開けてつないでください。



アース端子付きコンセントがない場合

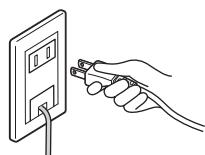
- ・アース棒の設置が必要です。販売店または電気工事店に相談してください。
- ・アース端子付きコンセントが取り付けられない場合は、アース棒を設置して、アース線を接続してください。



- ・アースは必ず接続してください。
- ・ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。

据え付け後の移動

10 電源プラグをコンセントに差し込む



- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。
- 電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
- 電源コードたばねないで、必ずのばして使用してください。
- 洗濯機を電源プラグに押しつけないようにしてください。
- 電源コードや電源プラグが、傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
- 電源コードを、引っ張ったりして傷つけないでください。
- 延長コードは使用しないでください。



引っ越しなどでドラム式洗濯機を移動するときは、以下の手順で本体内に残っている水を排水し、輸送用固定ねじを再度取り付けてください。

※ 移動中の水もれと、振動による破損を防止するためのものです。

1 電源を入れ、脱水のみコースで運転して、ドラム内の水を排水する

- ・ 時間を短縮するため、コース選択ダイヤルで脱水のみを選んだ後、脱水時間を脱水なし（脱水時間のランプがすべて消灯）にしてください。

2 糸くずフィルターカバーを開け、水抜きホースで排水する

- ・ 水抜きホースを取り出し、キャップを外してバケツなどに排水してください。



3 糸くずフィルターカバーを閉める

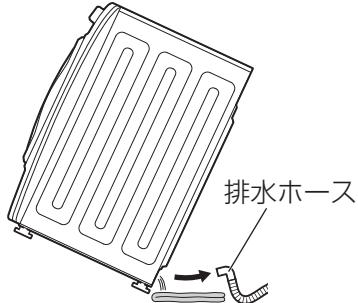
- ・ 水抜きホースに、キャップを取り付けて、元に戻してください。



据え付け後の移動 つづき

4 排水ホースを本体から取り外し、本体を少し後ろに傾けて、本体内の水を排水する

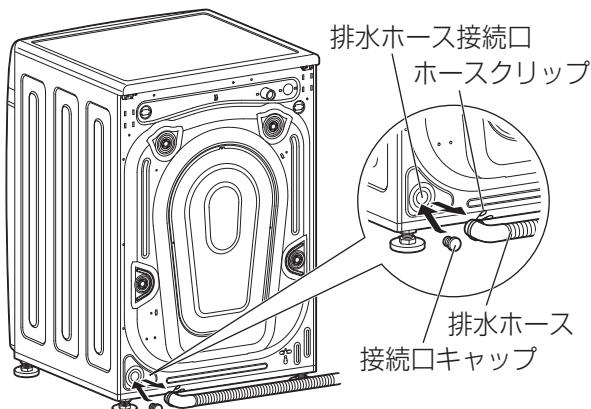
- 本体内に残った水が少し出ます。ぞうきんなどを置いてください。



- 転倒事故に十分注意してください。
- 必ず、二人以上で作業してください。

5 接続口キャップを取り付ける

- 排水ホースを取り外した穴に、接続口キャップを取り付けてください。



6 輸送用ねじ穴キャップを外す

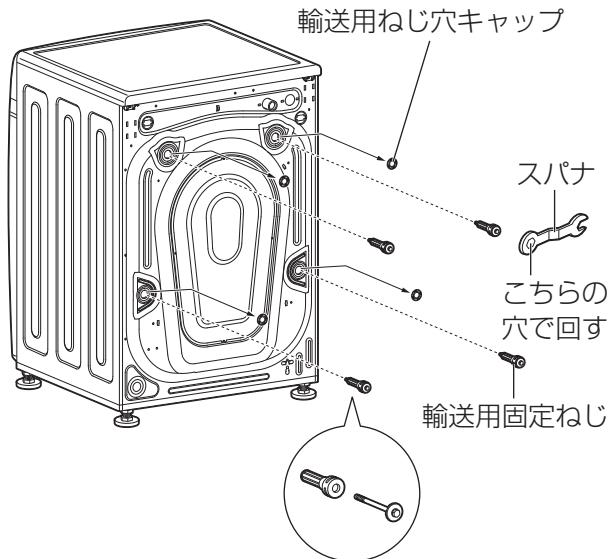
- キャップのスリットにマイナスドライバーを差し込み、固定つめを外して、キャップを取り外してください。



※外した輸送用ねじ穴キャップは、再度据え付けするときに必要になるので、紛失しないようにしてください。

7 輸送用固定ねじを取り付けて締める

- 輸送用ねじ穴キャップを取り外した穴に、輸送用固定ねじを取り付け、付属のスパナで回して締めてください。



- 据え付け時は、必ず輸送用固定ねじを外してください。
- 移動時は、必ず輸送用固定ねじをつけて締めてください。
振動や故障・破損の原因になります。

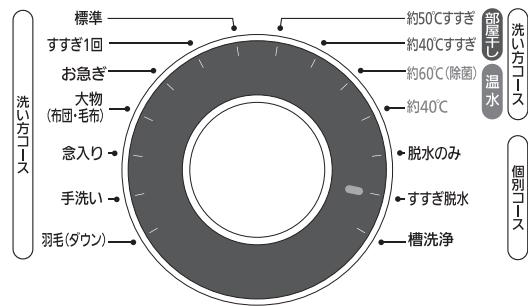
試運転

据え付けが完了したら、次の手順で試運転し、チェックシートで各項目の確認をしてください。

1 電源プラグが差し込んであることを確認し、給水栓を開く

- 給水ホースや接続部から水もれがないことを確認してください。

2 ドアを閉め、電源 切／入ボタンを押して電源を入れ、コース選択ダイヤルですすぎ脱水を選ぶ



3 脱水時間キーで脱水時間を4分に設定する



4 スタート／一時停止ボタンを押してスタートする



- ドラムが回転し、給水が始まります。

※ すすぎ脱水コースでは、最初に排水をするため、給水されるまで1分程度かかることがあります。

- ドアロックアイコン (■) が点灯してドアがロックされることを確認してください。



- すすぎが終了すると、排水→脱水が始まります。

- 排水口・排水ホースから水もれがないことを確認してください。

- 異常音・異常振動が出ないことを確認してください。

※ 排水時はドラムが回転しませんが、脱水が始まると徐々に回転が上がります。

5 脱水が完了するまで待つ

- 脱水が完了すると、電源が切れ、ドアロックアイコン (■) が消灯して、ドアを開けることができることを確認してください。

完了までの目安：約14分

チェックシート

- ・据え付け完了後、各項目を確認して、□の中に✓印を入れ、この据付説明書をお客様に渡してください。

- 輸送用固定ねじは外し、輸送用ねじ穴キャップをしました。
- 輸送用固定ねじとスパナをお客様に渡し、引っ越しなど移動時は輸送用ねじ穴キャップを外して、再度ねじを取り付けるように説明しました。
- 接続口キャップをお客様に渡し、引っ越しなど移動時は、再度接続口キャップを取り付けるように説明しました。
- AC100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使用しています。
- コンセントのゆるみや、電源コード・電源プラグの傷みはないことを確認しました。
- アース線の接続は確実に行いました。（感電防止のため、アースは必ず接続してください。）
- 給水ホースの、給水栓・本体との接続部に水もれがないことを確認しました。
- 排水ホースの本体・排水口との接続部に水もれがないことを確認しました。
- 排水口に糸くずなどのごみがたまっていないことを確認しました。
- 排水ホースが、本体の下にはさまつたり、よじれたり、つぶれたりしていないことを確認しました。
- 排水ホースが、段差などで10cm以上持ち上がっていないことを確認しました。
- 本体の角を対角線方向に押したときに、がたつきがないことを確認しました。
- 試運転して、異常音、水もれ、電源コード・排水ホース・給水ホースの本体への接触はなく、正常に給水・排水されることを確認しました。

確認日： 年 月 日

確認者：

工事（施工）会社名：

問い合わせ先 電話番号：

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品及び修理に関するお問い合わせは
アイリスコール (通話料無料) **0800-919-0770**

受付時間 平日 9:00～17:00、土・日・祝日 9:00～12:00／13:00～17:00
(年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAXでのお問い合わせは (通信料無料) **0800-888-2600**

Webからのお問い合わせは <https://www.irisohyama.co.jp/support/>
メールフォームにご記入のうえ送信してください

